

2014（平成26）年度

沖縄県平和祈念資料館年報 第15号



沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum

2014(平成26) 年度

沖縄県平和祈念資料館年報 第15号

沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum

沖縄県平和祈念資料館 設立理念

1945年3月末、史上まれにみる激烈な戦火がこの島々に襲ってきました。90日におよぶ鉄の暴風は島々の山容を変え、文化遺産のほとんどを破壊し、20数万の尊い人命を奪い去りました。沖縄戦は日本に於ける唯一の県民を総動員した地上戦であり、アジア・太平洋戦争で最大規模の戦闘でありました。

沖縄戦の何よりの特徴は、軍人よりも一般住民の戦死者がはるかに上まわっていることにあり、その数は10数万におよびました。ある者は砲弾で吹き飛ばされ、ある者は追いつめられて自ら命を断たされ、ある者は飢えとマラリアで倒れ、また、敗走する自国軍隊の犠牲にされる者もありました。私たち沖縄県民は、想像を絶する極限状況の中で戦争の不条理と残酷さを身をもって体験しました。

この戦争の体験こそ、とりもなおさず戦後沖縄の人々が米国の軍事支配の重圧に抗しつつ、つちかってきた沖縄のこころの原点であります。

“沖縄のこころ”とは人間の尊厳を何よりも重くみて、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する心であります。私たちは戦争の犠牲になった多くの霊を弔い、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に私たちの心を訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するため、ここに県民個々の戦争体験を結集して、沖縄県平和祈念資料館を設立いたします。

1975年(2000年4月1日一部修正) 沖縄県

**表紙：平成26年度第24回児童・生徒の平和メッセージ展
図画部門特別支援学校・学級の部**

最優秀賞「みんな仲よし いつまでも」

那覇市立大道小学校3年 宮城 慎登

目 次

沖縄県平和祈念資料館設立理念

はじめに

I 概 要

1 沿革	1
2 日誌(抄)	4
3 施設	6
4 組織	9
5 決算	15
6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会	16

II 調査研究事業

1 企画展のための研究調査	18
2 日系米国人版戦争体験収録事業	19
3 類似館調査	20
4 日本平和博物館会議	21

III 展示企画事業

1 常設展	22
2 企画展	
(1) 特別企画展「南洋の群星が見た理想郷と戦」	24
(2) 企画展「平成26年度子や孫につなぐ平和のウムイ事業成果報告展」	25
(3) 企画展「絵本原画展及びオーサーストーク」	26
(4) 「日系米国人版戦争体験収録事業」成果報告展	26
(5) 子ども・プロセス企画展	27

IV 資料収集・活用事業

1 新収蔵品目録	29
2 資料貸出	
(1) 写真パネル・実物その他	30
(2) 証言映像の貸出	31
3 撮影・掲載等利用一覧	32

V 教育普及事業

1 教育普及行事	
(1) 児童・生徒の平和メッセージ展	36
(2) 親子ビデオ上映会及び沖縄戦関連ビデオ上映会	39
(3) 夏休み子ども向け企画	
2 教育機関との連携	
(1) 平和講話	41
(2) 児童・生徒の職場体験	
3 講座・講習会・研修会	
(1) 沖縄県平和祈念資料館講習会	42
(2) 県立学校初任者向け講習会	42
(3) 島尻地区小中教職員10年経験者研修会	42
(4) 糸満市初任者研修会	43
(5) 県新規採用後期研修者への講義	43

VI 広報活動・出版等

1 JICAフェスティバル	44
2 沖縄県平和祈念資料館事業展	45

3	刊行物	4 5
VII	その他の事業	
1	「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業	4 6
VIII	入館者状況	4 7
1	月別入館者数	
2	年度別入館者数 慰霊の日無料入館者数	
3	月別県内・県外学校、少年の船等団体観覧状況	
4	市町村別団体入館者数	
5	都道府県別団体入館者数	
IX	八重山平和祈念館	5 2
1	概要	
2	施設	
3	事業概要	
4	月別入館者数	
X	沖縄県平和祈念資料館友の会活動報告	5 9
1	活動内容	
2	申込方法	
3	申込条件	
4	平成26年度講話・ガイド活動実績件数	
5	平成26年度活動内容	
X I	関係条例・規則・要綱	6 1
1	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例	
2	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則	
3	八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱	
X II	資料	7 3
1	各種申請書・要項	
2	沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況	

はじめに

沖縄県平和祈念資料館は開館以来、沖縄戦の実相・教訓を後世へ正しく伝え、平和を大切にす
る「沖縄のこころ」を世界へ発信し、恒久平和の実現に寄与するために様々な取り組みを行って
います。おかげさまで2015年3月には、600万人の来館者を達成することができました。

常設展示は、沖縄戦に至るまでの経緯及び実相と戦後における住民の戦災復興、平和を希求す
る人々の足跡などを展示していますが展示をより深く理解してもらうために、県内小中学校・高
等学校及び特別支援学校等の児童・生徒を対象に平和講話を提供しています。平成26年度は
146回実施しており、資料館での平和講話が児童・生徒の平和学習には欠かせない存在になっ
ています。

期間、テーマを定めて実施する企画展示では、戦前当時日本の委任統治領であったサイパン島
・テニアン島などの旧南洋群島に移住したウチナーンチュ（沖縄出身者）が1944年に日米両軍の
激しい地上戦に巻き込まれた惨劇を踏まえ、旧南洋群島における戦前・戦中・戦後の生活や平和
への思いを取り上げた第15回特別企画展「南洋の群星が見た理想郷と戦～70年の時を超えて旧
南洋群島ウチナーンチュの汗と血、そして涙～」を開催しました。また、子ども・プロセス展示
室では、沖縄戦、復帰、貧困、人権、紛争、国際理解等をテーマとし、子どもたちの視点にたっ
た企画展を実施しました。

教育普及活動では、学校連携事業として位置づけている「児童・生徒の平和メッセージ展」が
24回を数え、県内小中高等学校及び特別支援学校等の年中行事として定着しつつあります。平成
26年度は、「図画」「作文」「詩」の3部門で総数3,943点の作品応募がありました。「詩」部
門の小学校の部最優秀作品「空はつながっている」は、「沖縄全戦没者追悼式」において朗読さ
れ、その平和へのメッセージは多くの参加者に感動を与えました。本年度の優秀作品は、昨年に
引き続き県内各地だけでなく、ハワイでも展示され好評を博し、県内外の多くの人々に「平和の
心」を発信しました。

平成26年度は、日系米国人版戦争体験収録事業を行いました。戦前、ハワイに移住したウチナ
ーンチュの子ども達である日系米国人が、米軍兵士として故郷沖縄の地で日本軍と戦わざるを得
なかった状況と通訳や投降呼びかけなどで多くの沖縄県民と関わった体験、更に平和に対する思
いを体験者20名から収録し、当館の映像ブースや貸し出し用DVDを通して発進しました。また、
那覇空港、JICA横浜センター、羽田空港、当館での成果報告展、ハワイから体験者2名を招いて
のシンポジウム『日系2世ウチナーンチュが見た戦中、戦後』を通して同じく体験者の思いを発
信し好評を博しました。

また八重山平和祈念館では、特別企画展及び児童・生徒の平和メッセージ展本館移動展のほか、
「旧南洋群島へ渡った沖縄県人～楽園から玉砕の島へ70年の時を超えて～」展、「八重山の昔
ばなし」展、「貧困のなかで生きる子どもたち」展を開催しました。さらに平和学習のための学
校教員向け館の見学会も実施しました。

最後に当館及び八重山平和祈念館を、「沖縄戦」の実相を通して世界の平和について考える“
場”として益々ご利用、ご活用いただくことを願っています。また、活動状況をまとめたこの冊
子も広くご利用いただければと思います。

平成27年5月

沖縄県平和祈念資料館
館長 國仲 功

I 概要

1 沿革

[沖縄県立平和祈念資料館] (旧館)

1972 (昭和47) 年沖縄県援護課を主管に資料館構想がつくられ、1974 (昭和49) 年に鉄筋コンクリート2階建て (延床面積1,003㎡) の館落成。管理運営を財団法人沖縄県戦没者慰霊奉賛会に委託して1975 (昭和50) 年6月11日に開館した。以来、沖縄戦について学び、平和について考える施設として活動を続ける。2000 (平成12) 年3月31日に閉館。

[沖縄県平和祈念資料館] (新館)

旧資料館の「設立理念」と「展示むすびのことば」の精神を継承し、平和の創造と人類の恒久平和に寄与する拠点的な施設として移転改築した。2000 (平成12) 年3月29日に開館記念式典が挙行され、4月1日に開館。

[歴代館長]

外間盛治	2000 (平成12) 年4月	2002 (平成14) 年3月
阿波根昌安	2002 (平成14) 年4月	2003 (平成15) 年3月
島袋記美子	2003 (平成15) 年4月	2005 (平成17) 年3月
川満茂雄	2005 (平成17) 年4月	2007 (平成19) 年3月
宮城智子	2007 (平成19) 年4月	2009 (平成21) 年3月
大川芳子	2009 (平成21) 年4月	2011 (平成23) 年3月
呉屋禮子	2011 (平成23) 年4月	2013 (平成25) 年3月
上與那原美和子	2013 (平成25) 年4月	2014 (平成26) 年3月
國仲功	2014 (平成26) 年4月	～

[主な事項]

1993 (平成5) 年度	12月7日	「平和祈念資料館移転改築事業」基本計画及び展示基本設計調査業務委託契約を沖縄県平和祈念資料館移転改築事業・基本計画及び展示設計調査業務共同企業体 (商工美術(株) (株)沖縄ノムラ) と締結する。
	1月31日	第1回「平和祈念資料館移転改築事業」推進検討委員会開催
1994 (平成6) 年度	10月12日	第1回「平和祈念資料館移転改築基本計画」検討委員会開催
1995 (平成7) 年度	3月28日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 設計プロポーザル・エスキス競技最優秀賞team DREAMに決定
1996 (平成8) 年度	6月25日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 展示設計プロポーザル競技により (株) 乃村工藝社を設計者に選定
	9月26日	第1回沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 監修委員会開催
1997 (平成9) 年	10月21日	県議会：建設工事請負契約議決
	10月22日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 建設工事着工
	12月22日	県議会：展示製作委託業務契約議決
	3月17日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) ・資料収集広報キャンペーンを開催 (巡回展、講演会)
1999 (平成11) 年度	6月30日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 建設工事完了
	3月29日	沖縄県平和祈念資料館 開館記念式典・内覧会挙行
	3月30日	沖縄県平和祈念資料館監修委員会 (最終) 開催
	3月31日	沖縄県立平和祈念資料館 (旧資料館) 閉館

2000(平成12)年度	4月1日	開館(一般公開始まる)
	5月28日	入館者10万人達成
	7月14日	「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」開催 主催: 広島市、長崎市 (~27日)
	7月21日	九州・沖縄サミット首脳会合沖縄開催(~23日) アメリカ大統領「平和の礎」訪問
	3月23日	『沖縄県平和祈念資料館総合案内』発刊
	3月30日	『資料館学習の手引き』発刊
2001年(平成13)年	4月25日	入館者50万人達成
2002(平成14)年度	10月18日	入館者100万人達成
2003(平成15)年度	12月11日	入館者150万人達成
	1月10日	「ピース&ヒューマンライツフェスティバル」開催
2004(平成16)年度	7月24日	第1回ボランティア養成講座開始(~12月18日)平成18年度まで
2005(平成17)年度	4月7日	入館者200万人達成
2006(平成18)年度	4月12日	沖縄県新採用職員研修
	6月1日	入館者250万人達成
2007(平成19)年度	6月21日	ミュージアムショップ開店(運営: 沖縄県平和祈念財団)
	7月6日	入館者300万人達成
2008(平成20)年度	4月23日	八重山平和祈念館の正面展示パネル刷新
	10月9日	入館者350万人達成
2009(平成21)年度	5月19日	「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力」事業(~2012年3月)
	11月18日	入館者400万人達成
	12月22日	常設展示のキャプション整備(英文表記追加)
	12月23日	常設展示室等映像機器等入れ替え(~3月31日)
	1月25日	特別収蔵庫空調機修繕入れ替え(~3月19日)
2010(平成22)年度	4月1日	収蔵品等整理業務委託(~H24年3月31日)
	7月15日	ピースメモリアルグッズ開発事業委託(~H24年3月31日)
	7月28日	皇太子行啓
	10月10日	沖縄県平和祈念資料館ジュニア版ガイドブック発刊
	10月30日	『詩集 写真の中の少年』を刊行
	2月3日	入館者450万人達成
2011(平成23)年度	10月20日	人数カウンター設置工事開始(~10月30日)
	3月6日	ノーベル科学賞受賞者鈴木章氏来館
	3月7日	合同企画展「2つの平和博物館の平和創造展」カンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館にて開催
2012(平成24)年度	5月28日	入館者500万人達成
	7月13日	「子や孫につなぐ平和のウミイ事業」(~H24年3月27日)
	10月5日	ミス・インターナショナル世界大会出場者来館
	12月1日	沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業 (~2015年3月)
2013(平成25)年度	10月29日	入館者550万人達成
	2月12日	ケネディ駐日米国大使来館

[主な企画展等、その他催し]

2000(平成12)年度	企画展「寄贈・寄託展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展
2001(平成13)年度	特別企画展「収蔵品展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会(2回)
2002(平成14)年度	企画展「占領下のこども文化展」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
2003(平成15)年度	企画展「銃後を護れー戦時下のくらしと情報統制ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
2004(平成16)年度	特別企画展「寄贈・寄託品展ー語りかける歴史の証言者たちー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
2005(平成17)年度	特別企画展「沖縄戦と疎開ー引き裂かれた戦時下の家族ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(3回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
2006(平成18)年度	特別企画展「沖縄戦における住民動員ー戦時下の根こそぎ動員と失われた明日ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
2007(平成19)年度	特別企画展「沖縄戦と戦争遺跡ー戦世(イクサ)の真実を伝えるためにー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座(2回)
2008(平成20)年度	特別企画展「カンポークェヌクサーー沖縄戦後混乱から復興へー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座、新収蔵品展
2009(平成21)年度	特別企画展「イクサユースワラビ〜戦時下の教育と子どもたち〜」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「ひびけ!!平和創造のうた」、新収蔵品展
2010(平成22)年度	特別企画展『「沖縄のこころを世界へ」ー過去をつたえ、現在をみつめ、未来をひらくー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「平和音楽祭2010」(20回)、新収蔵品展、「平和教育の公開授業とパネディスカッション」、「NANAマラソンの道」〜走る道、逃げる道〜展、「子ども・未来・メッセージ展」(台湾・沖縄交流事業)
2011(平成23)年度	特別企画展『「アメリカ世(ユウ)の沖縄」ー逞しくしたたかに生きてきたウチナーンチューー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、新収蔵品展、大城弘明写真展「沖縄・終わらない戦後」
2012(平成24)年度	特別企画展『沖縄人が見た戦世とアメリカ世』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「絵本が語りつぐ戦世」展、「カンボジア光と影」展

特別企画展『ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座シンポジウム「ハワイ日系二世兵が見た戦争と沖縄」、新収蔵品展、「カンボジア光と影Ⅱ」展

2 日誌(抄) 2014(平成26)年度

- 4月3～4日 平和講話等利用説明会
 5月5日 親子ビデオ上映会
 6月2日 第1回子ども・プロセス企画展「沖縄戦への道 -70年前、その時、何が・・・」開催(～7月7日)
 6月3日 JICA課題別研修生来館①(10名)
 6月5日 南風原小学校児童職場見学(3名)
 6月7日 第8回千羽鶴引き渡し式
 6月16日 JICA課題別研修生来館②(10名)
 架け橋プロジェクト米国高校生来館
 ルツ・カハノフ駐日イスラエル大使夫妻来館
 6月22日 開館時間1時間延長
 6月23日 第24回 児童・生徒の平和メッセージ展開催(～7月9日)
 開館時間1時間延長・沖縄戦関連ビデオ上映会
 「子や孫につなぐ 平和のウムイ事業成果」報告展(～8月30日)
 絵本原画展(～8月15日)・オーサーズトーク
 ソドブジャムツ・フレルバートル駐日モンゴル大使夫妻来館
 6月28日 「平和文化」創造の博物館づくり協力事業専門家派遣①
 (～7月6日 カンボジア 古謝)
 7月8日 台風8号襲来により終日臨時休館
 7月9日 資料館講習会(37名参加)
 7月15日 常設展示室消毒・燻蒸作業のため臨時休館(～17日)
 7月16日 第24回 児童・生徒の平和メッセージ展開催(八重山平和祈念館～27日)
 7月20日 第2回子ども・プロセス企画展「チャレンジ・夏休み自由研究-沖縄戦について調べてみよう」開催(～8月31日)
 8月1日 島尻地区小中学校教職員10年経験者研
 8月2日 夏休み自由研究相談室(8/9、8/16)
 第24回 児童・生徒の平和メッセージ展開催(イオン名護店～10日)
 8月5日 島尻地区小中学校教職員10年経験者研 現場研修2名(～6日)
 OCVB沖縄修学旅行フェア2014
 沖縄県平和祈念資料館事業展
 8月9日 親子平和学習ツアー
 夏休み子ども向け企画ビデオ上映会(～10日)
 8月13日 県立高校・特別支援学校・幼稚園教諭及び養護教諭初任者研修会
 8月17日 夏休み自由研究教室
 8月18日 第24回 児童・生徒の平和メッセージ展開催(県庁県民ホール～22日)
 8月20日 糸満市小中学校教諭初任者研修会
 8月29日 第24回 児童・生徒の平和メッセージ展開催
 (宮古島市総合博物館～9日)
 9月16日 内閣府政策統括官付参事官来館(3名)
 9月19日 第1回 沖縄県平和祈念資料館運営協議会開催
 9月19日 第3回子ども・プロセス企画展「沖縄戦への道2 -10・10空襲そして県民総動員へ-」開催(～11月20日)
 10月2日 ニュージーランド オタゴ大学副総長来館
 10月7日 新採用県職員後期研修会講師派遣①(島袋 沖縄県自治研修所)
 10月9日 第15回 特別企画展「南洋の群星が見た理想郷と戦」開催(～12月11日)
 ウイン・アウン駐日ミャンマー大使夫妻来館
 10月10日 第7回 平和賞授賞式(名護市) 当館事業に関するパネル展示
 10月14日 JICA草の根技術協力「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物

- 館づくり協力」協力事業研修（カンボジア国立トゥール・スレン
虐殺博物館2名、カンボジア国立博物館2名参加～16日）
- 10月21日 新採用県職員後期研修会講師派遣②（島袋 沖縄県自治研修所）
- 10月22日 インターンシップ沖縄水産高等学校 2名（～24日）
- 10月24日 カンボジア ビラクNCM館長、ビソットT SGM館長来館
- 11月 3日 JICA課題別研修生来館(9名)
- 11月 8日 JICA国際協力・交流フェスティバル2014「沖縄県平和祈念資料館
事業展」展示（沖縄国際センター）（～11月9日）
- 11月13日 第21回 日本平和博物館会議 長崎原爆資料館（～11月14日）
- 11月14日 第1回 類似館調査(長崎) 孔子廟
- 11月22日 インターンシップ豊見城南高等学校2名（～14日）
インターンシップ糸満高等学校1名（～14日）
- 11月26日 外務省主催研修員来館(4名)
- 12月 6日 沖縄戦講座シンポジウム「日系二世ウチナーンチュが見た戦中・戦後」開催
- 12月 4日 第4回子ども・プロセス企画展「人権展 ―自分らしく生きるため
に―」（～2月15日）
- 12月18日 「カンボジア光と影Ⅲ」展開会（～1月12日）
- 1月17日 特別企画展八重山移動展（～2月26日）
- 1月21日 第24回 児童・生徒の平和メッセージ展開催（ハワイ沖縄センター～25日）
- 1月22日 韓国済州島特別自治道教育庁視察(17名)
- 2月 7日 来館者600万人達成
- 2月11日 「日系米国人版戦争体験収録事業」報告展（那覇空港～15日）
- 2月17日 第2回類似館調査（東京都 神奈川県 ～2月19日）
・平和祈念資料館 ・公益財団法人日台交流センター
・フィリピン日系人リーガルサポートセンター
・一般財団法人台湾協会 ・W a m女たちの戦争と平和資料館
・川崎市平和館 ・地球市民かながわプラザ
- 2月21日 「日系米国人版戦争体験収録事業」報告展（JICA横浜～27日）
- 2月23日 「平和文化」創造の博物館づくり協力事業専門家派遣②
（～19日 カンボジア 古謝、3月4日～3月9日 館長）
- 3月 1日 「日系米国人版戦争体験収録事業」報告展（羽田空港～5日）
- 3月 7日 第5回 子ども・プロセス企画展「沖縄戦の絵―体験者が描く地獄
の戦場―」開催（～5月17日）
- 3月10日 「LOVE & PEACE in 沖縄」ポスター展（P. I. Nの会 ～15日）
- 3月18日 第2回 平和祈念資料館運営協議会八重山部会（沖縄県平和祈念資料館）
第2回 平和祈念資料館運営協議会開催
- 3月21日 「日系米国人版戦争体験収録事業」報告展（～6月30日）
- 3月25日 消防訓練



沖縄県平和祈念資料館外観

3 施 設

(1) 平和祈念資料館の役割

ア 全戦没者への追悼と恒久平和の祈念

沖縄戦の実相と教訓を継承し、沖縄戦で亡くなられた20万余の国内外のすべての人々に追悼の意を表すとともに、世界の恒久平和を祈念する場とする。

イ 平和の発信と創造

沖縄の先達から受け継いだ「沖縄のこころ」を原点に、県民が主体的かつ積極的に平和の創造に関わり、平和を発信する拠点施設とする。

ウ 平和教育、平和交流及び人材育成

平和を求める人々の積極的な参加と交流を促進する各種の平和教育、平和交流等の活動を展開する。また、平和学習等に必要の人材育成を支援する。

エ 平和のネットワークの構築

平和をテーマとした内外の関連施設を中核として、学校、図書館等の公共の施設等と平和ネットワークを構築し、情報交換や平和研究等の人的交流を促進し、平和活動を支援する。

オ 平和のデータベースと調査研究

沖縄戦や平和に関する資料・情報及び調査研究の成果等をデータベースとして構築し、県民をはじめ、広く内外に提供するとともに、展示や事業活動を展開するための調査研究を実施するなど平和活動等に寄与する。

(2) 建設概要

ア 事業期間 平成5年度～平成11年度

イ 事業規模 地下1階地上2階 RC造り

敷地面積 約12,808平方メートル

延床面積 10,179平方メートル

ウ 総事業費 約7,291百万円(県債6,510、施設整備基金139、一般642)

工事費 4,900百万円

設計費 155 〃

展示工事費 1,535 〃

展示設計費 126 〃

情報システム 171 〃

その他 404 〃

エ 主な施設

常設展示室(1～5室) 1,360平方メートル

企画展示室 255 〃

子ども・プロセス展示室 518 〃

情報ライブラリー 472 〃

平和祈念ホール 245 〃

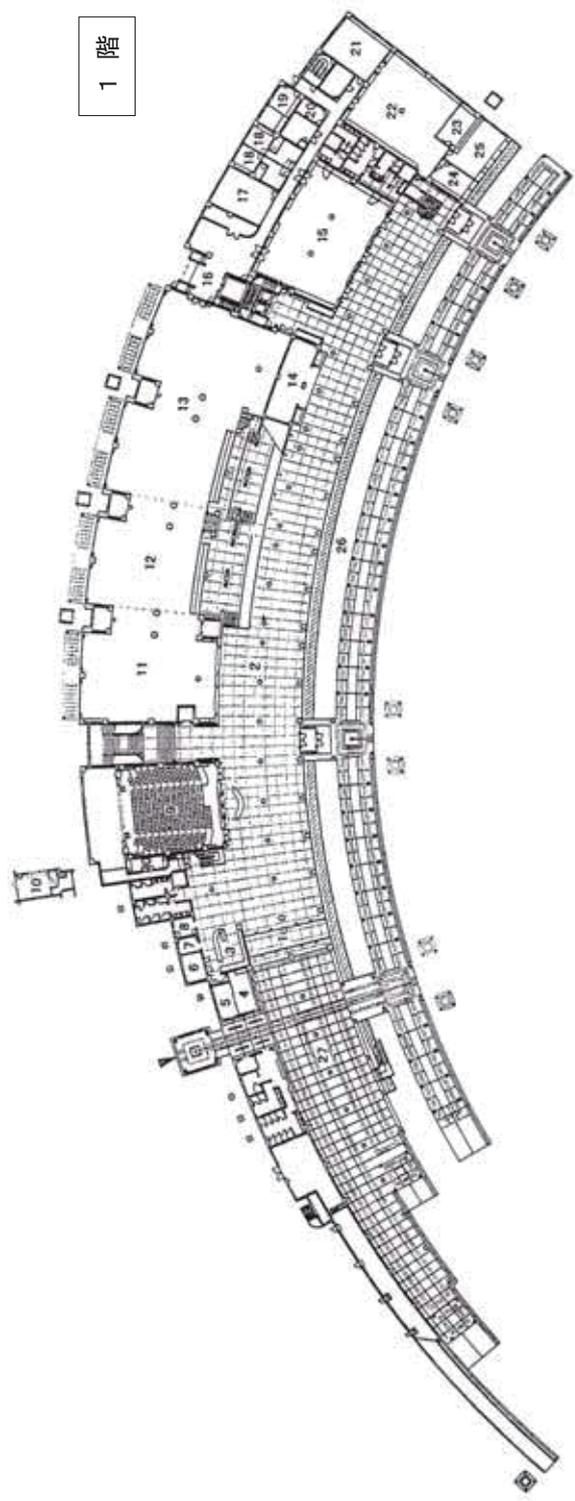
海と礎の回廊 256 〃

会議室 200 〃

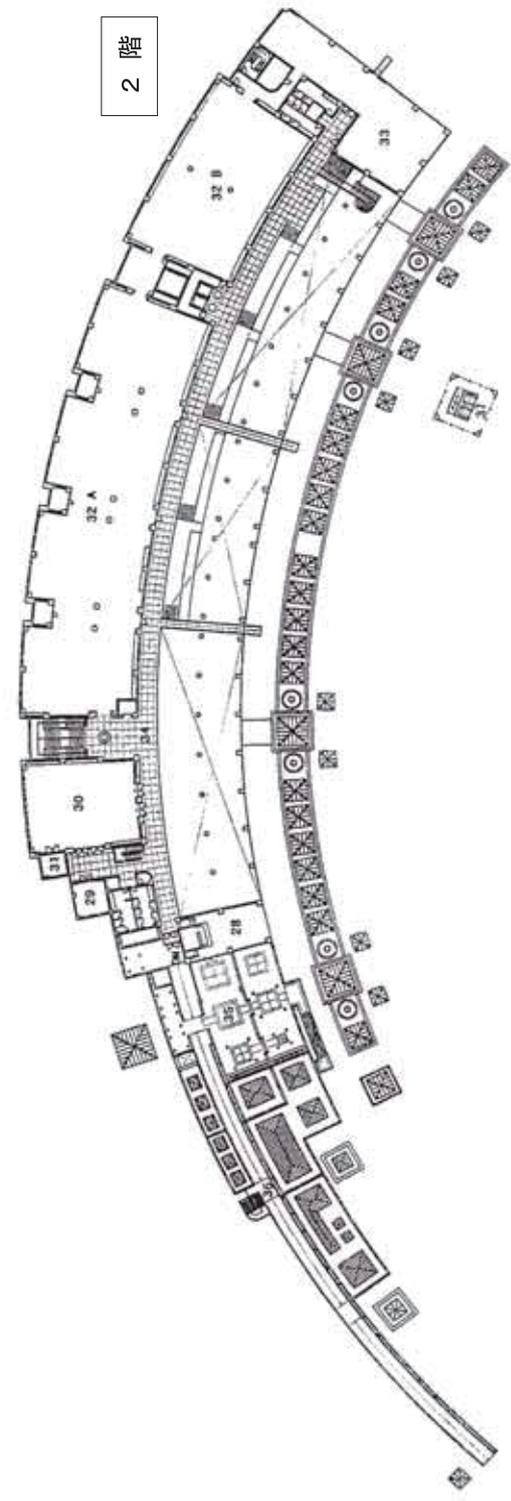
一般収蔵庫 1,201(1F、2F) 〃

特別収蔵庫 281(1F、2F) 〃

- 1 エントランス
 - 2 ホール(1510㎡)
 - 3 ミュージアムショップ(28㎡)
 - 4 事務室
 - 5 ボランティア添乗員室
 - 6 授乳・救護室
 - 7 TELルーム
 - 8 ロッカー・自販機室
 - 9 平和祈念ホール(245㎡・231席)
 - 10 楽屋・調整室
 - 11 子供展示室(285㎡)
 - 12 プロセス展示室(233㎡)
 - 13 情報ライブラリー(472㎡)
 - 14 アルコーブ
 - 15 企画展示室(255㎡)
 - 16 荷解き室(49㎡)
 - 17 情報処理室
 - 18 職員休憩室
 - 19 守衛室
 - 20 給湯室
 - 21 事務会議室(52㎡)
 - 22 事務学芸員室(158㎡)
 - 23 小会議室
 - 24 館長室
 - 25 応接室
 - 26 中庭
 - 27 ピロティー
- 1階 s=1/700
- 28 喫茶室(86㎡)
 - 29 事務室
 - 30 会議研修室(200㎡・100席)
 - 31 調整室
 - 32A 常設展示室 1～4 (957㎡)
 - 32B 常設展示室 5 (403㎡)
 - 33 海と礎の回廊(256㎡)
 - 34 ギャラリー(373㎡)
 - 35 テラス
 - 36 外部スロープ
 - 37 展望室
- 2階 s=1/700

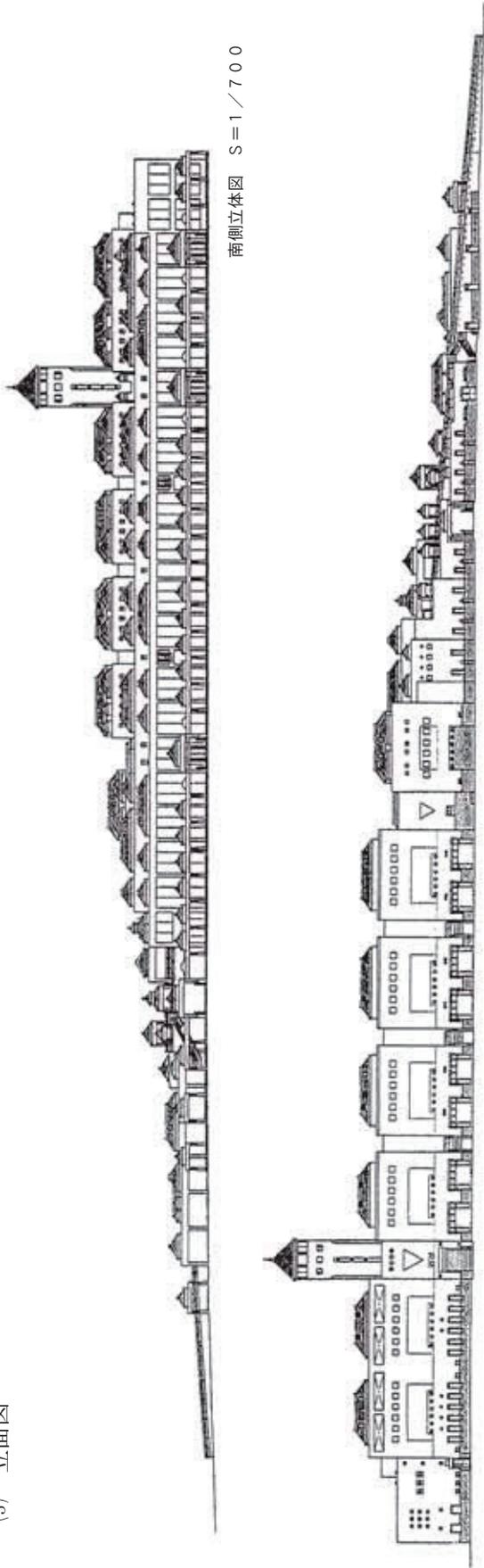


1階

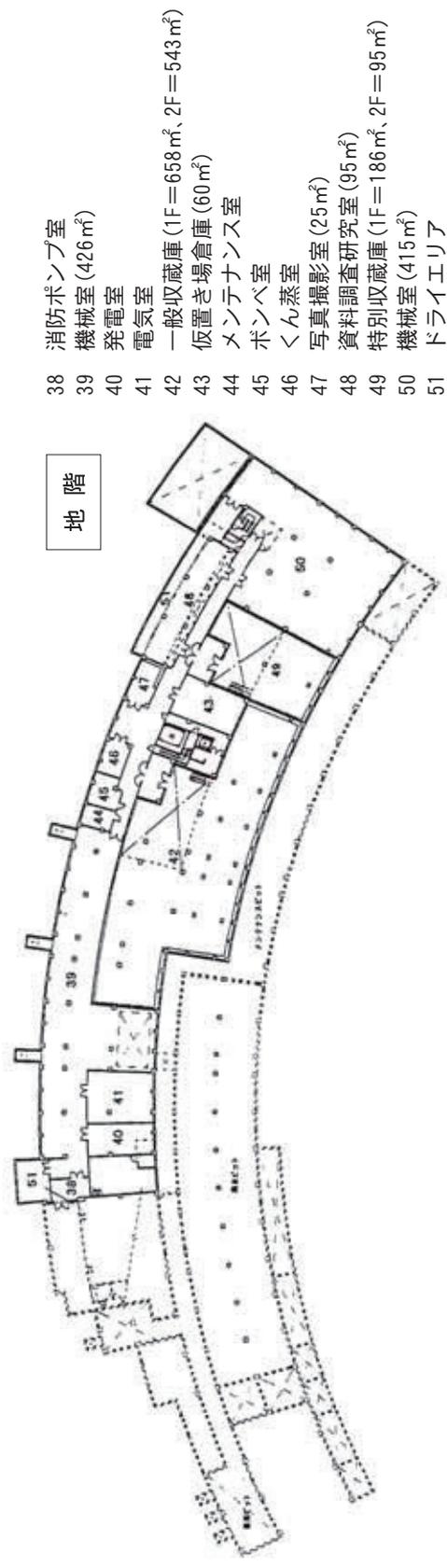


2階

(3) 立面図



(4) 平面図



地階 s=1/700

(2) 職員構成（平成27年4月1日現在）

職名	氏名	担当業務
館長	國仲 功	資料館業務の総理に関すること

総務

主幹	真志喜 健 (出納員)	管理運営に係る将来計画の策定に関する事項 予算、決算、監査の総括に関する事項 財産管理の総括に関する事項（財産の維持、保全補修等管理全般、金庫の鍵、公印保管等） 消防訓練、防災・緊急時対応に関する事項 議会関係に関する事項 委託業者の監督調整等に関する対外的事項に関する事項 運営協議会に関する事項（公募・会議開催の庶務的事項） 土日祝日勤務割り振りに関する事項 その他庶務会計に関する事項
主査	徳嶺 かおり	給与の支払、諸手当の認定、任用等服務に関する事項 文書の收受、保管に関する事項 出勤簿、超勤命令簿等の管理に関する事項 需用費、役務費、使用料及び賃借料等の執行に関する事項 旅費、報酬、謝金に関する事項 決算に関する事項 公用車の管理に関する事項 消耗品、切手等の受払に関する事項 雑入に関する事項 共済事務に関する事項 その他庶務会計に関する事項
主査	棚原 盛健	出納事務に関する事項（日計表の確認含む） 施設・設備、財産の使用許可業務に関する事項 団体入館予約、入館者の日報月報等統計業務に関する事項 歳入事務（観覧料等）に関する事項（八重山平和祈念館含む） 委託料に関する事項 修繕料に関する事項 音声ガイド等音響機器の管理に関する事項 機器のリースに関する事項 備品の執行管理に関する事項 公有財産に関する事項 その他庶務・会計に関する事項

学 芸

凡例：主：主担当 副：副担当 共：共通

職 名	氏 名	担 当 業 務
主幹 (総括)	新垣 誠	学芸業務の総括及び学芸業務に関する事項 (主) 学芸員実習生の受け入れ等に関する事項 (主) 事業計画及び展示活動事業執行の統括に関する事項 (主) 運営協議会に関する事項 (委員の選任、運営及び課題) (主) 予算・決算・議会の資料作成に関する事項 (主) 管理運営の将来計画策定に関する事項 (学芸的事項) (主) 要人・議員団・その他研修等案内及び割り振り (主) 公的研修に関する事項 (主) 消防防災に関する事項 (副) 沖縄県資料保存利用機関連絡会議 (副) 平和講話に関する事項 (共)
主 査	古謝 将史	児童・生徒の平和メッセージの企画等に関する事項 (主) 沖縄県博物館協会に関する事項 (主) ホームページ (平和学習実践事例) に関する事項 (主) 常設展示室 (第1・第3室) の管理運営に関する事項 (主) 「戦時中の手紙・手記からみる家族の絆」展 (主) 質問照会の回答担当に関する事項 (主) 日系米国人版戦争体験証言収録事業に関する事項 (主) 日系米国人版戦争体験証言収録成果報告展 (副) 「沖縄のこころ」平和発信強化事業 (共) 学芸員実習の講義に関する事項 (共) 平和講話に関する事項 (共) 特別企画展に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)
主 査	真栄平 房佳	「沖縄のこころ」平和発信強化事業 (主) シンポジウム (沖縄戦講座) に関する事項 (主) 国際協力調整に関する事項 (韓国学生受け入れ・平和人権施設及び財団会議韓国留学生・特別企画展等) (主) 沖縄ハワイ交流事業に関する事項 (主) (年度途中) 提案展示会等への対応に関する事項 (主) 学芸員実習の講義に関する事項 (共) 常設展示室 (第2室) の管理運営に関する事項 (主) 特別企画展に関する事項 (共) 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)
主 査	福里 竜也	特別企画展の企画・立案に関する事項 (主) 常設展示 (子どもプラス展示室) の管理運営に関する事項 (主) 情報ライブラリー活性化など活用促進に関する事項 (主) 資料館講習会の企画等に関する事項 (主) 児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項 (共) 「沖縄のこころ」平和発信強化事業 (共) 学芸員実習の講義に関する事項 (共) 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)

主 査	宮里 満男	県内小中高校生への平和講話等の対応に関する事項（主） 友の会活動の支援・推進に関する事項（主） 学校団体等の利用促進に関する事項（主） 沖縄県地域史協議会の管理に関する事項（主） 常設展示室（第5及び屋外）の管理運営に関する事項（主） 類似館・次年度特別企画展調査に関する事項（主） 日本平和博物館会議に関する事項（主） 沖縄県資料保存利用機関連絡会議（主） 展示物等の撮影許可・著作権申請等に関する事項（主） 戦後70年・沖縄美術すでいる－REGENERATION Mabuni－Peace プロジェクト展（主） 児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項（共） 特別企画展の企画・立案に関する事項（副） 収蔵資料の管理に関する事項（副） 「沖縄のこころ」平和発信強化事業（共） 学芸員実習の講義に関する事項（共） 平和講話に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共）
主 査	平良 博志	日系米国人版戦争体験証言収録事業成果報告展（主） 常設展示（第4室）の管理に関する事項（主） 夏休み親子平和学習に関する事項（主） 証言映像・収蔵資料の貸出に関する事項（主） 寄贈資料の受理、整理保存に関する事項（主） 収蔵資料の管理に関する事項（主） 千羽鶴未来プロジェクト及び千羽鶴の受理に関する事項（主） キャリア教育に関する事項（主） 児童・生徒の平和メッセージの企画等に関する事項（副） 「沖縄のこころ」平和発信強化事業（副） 資料館講習会（副） 「沖縄のこころ」平和発信強化事業（共） 学芸員実習の講義に関する事項（共） 平和講話に関する事項（共） 特別企画展に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共）
主 査 (短時間勤務)	呉屋 禮子	「資料館だより」の編集・発行に関する事項（主） 燻蒸・消毒の実施に関する事項（主） アニメ及び上映会に関する事項（こどもの日・慰霊の日）（主） アンケート分析、月ごとの総括に関する事項（主） 『年報』等の発行に関する事項（主）
嘱託員 (学芸員)	渡名喜 琴音	資料・収蔵品の整理・展示等学芸業務の補助に関する事項 資料等の送付に関する事項 観覧者アンケート等入力・統計・分析に関する事項 会議室・ホール等の借用受付に関する事項 沖縄戦・平和教育に関わる記事の収集等に関する事項 HP の作成に関する事項 館内事業案内掲示など広報等に関する事項 その他上司の命に関する事項
	大城 健資	
	鈴木 友美	

委 託

職 名	氏 名	担 当 業 務
主 査 (学芸員)	平田 守	情報ライブラリーの管理運営に関する事項 子ども・プロセス展示室の企画等に関する事項 沖縄戦の調査研究に関する事項 修学旅行・平和教育の講師、説明に関する事項 館長の命による業務に関する事項
囑 託 員	仲村 美奈子	情報ライブラリーの管理運営に関する事項 子ども・プロセス展示室の管理に関する事項 館長の命による業務に関する事項
	吉江 史扇	

八重山平和祈念館

職 名	氏 名	担 当 業 務
分 館 長	名城 政広	分館の事務を処理し、所属職員を指揮監督すること。
主 査	川上 剛司	館の施設、備品等の維持管理に関する事項 契約事務、支出事務に関する事項 資料の寄贈、寄託関係に関する手続き事務に関する事項 消防訓練、防災・緊急時対応に関する事項 観覧料の収納等に関する事項 施設・設備、財産の使用許可に関する事項 企画展に関する事項 八重山平和祈念館の運営に関する総括業務及びその他指示された事項
囑 託 員	迎里 円	展示物及び資料の収集、保存及び管理に関する事項 (副) 展示物及び資料の説明に関する事項 (副)
	眞榮田 理那	館の施設及び備品等の維持管理に関する事項 (副) 観覧料の収納事務に関する事項 (副) 八重山平和祈念館の運営に関する事項 (副)

(3) 人事異動（平成27年4月1日現在）

沖縄県平和祈念資料館

異動	職名	氏名	摘要
転入	主 査 主 査 嘱 託	宮里 満男 平良 博志 鈴木 友美	那覇市立石嶺小学校から 県立与勝高等学校から 採用
転出	主 幹 主 査 嘱 託	島袋 篤 功刀 弘之 嘉手苺 春音	栗国村立栗国小中学校へ 県立名護商工高校へ 退職

八重山平和祈念館（分館）

異 動	職 名	氏 名	摘 要
転入	分 館 長 主 査 嘱 託 員	名城 政広 川上 剛司 眞榮田 理那	人事課から 八重山土木事務所から 採用
転出	分 館 長 主 査 嘱 託	登野城 正一 新里 和也 伊敷 幸江	退職 文化振興課へ 退職

5 平成26年度 歳入歳出決算（本館のみ）

歳入

単位：円

	常設展示室	ホール等	ミュージアムショップ等	日系米国人版戦争体験 収録事業（沖縄振興特 別推進交付金）	寄附金	不用品売払代	合計
資料館観覧料	51,571,800						51,571,800
資料館使用料		1,205,420					1,205,420
建物使用料			283,663				283,663
建物貸付料			862,380				862,380
寄附金							0
雑入			286,546				286,546
日系米国人版戦争体験収録事業				11,315,682			11,315,682
不用品売払代							0
合計	51,571,800	1,205,420	1,432,589	11,315,682	0	0	65,525,491

歳出

単位：円

科目	管理運営 事業	展示活動 事業	日系米国人版戦 争体験収録事業				合計
報酬	195,300	5,927,020					6,122,320
共済費							0
賃金							0
報償費	10,800		48,000				58,800
旅費	106,720	1,294,741	1,476,602				2,878,063
需用費	33,030,030	920,669					33,950,699
役務費	1,704,350	202,345					1,906,695
委託料	51,953,498	17,498,000	12,620,001				82,071,499
使用料及び 賃借料	6,253,100	45,000					6,298,100
工事請負費	68,094,000						68,094,000
備品購入費	45,000						45,000
負担金補助 及び交付金	10,000						10,000
公課費	0						0
合計	161,402,798	25,887,775	14,144,603				201,435,176

6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会

(1) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会委員及び八重山平和祈念館部会委員名簿

(任期：平成26年9月16日～平成28年9月15日)

区 分	役職名	氏 名	現 職 名
学識経験者	会 長	安 田 國 重	平和祈念資料館友の会会長
	副会長	石 堂 徳 一	石垣市文化協会事務局長
	委 員	大 城 将 保	新沖縄県史編集委員
	委 員	鳥 山 淳	沖縄国際大学総合文化学部教授
	委 員	平 良 次 子	南風原文化センター学芸班長
	委 員	古 賀 徳 子	ひめゆり平和祈念資料館学芸係長
	委 員	青 山 恵 昭	美術家
	委 員	松 田 隆 仁	広報アドバイザー
	委 員	宮 城 明	画家、サン21プロジェクト代表
	委 員	安 里 進	沖縄県立博物館・美術館館長
教育関係者	委 員	比 知 屋 綾 子	豊見城市教育委員会教育相談員
公 募	委 員	榎 本 拓 也	有限会社がじまる代表

(2) 八重山平和祈念館部会委員名簿

代表区分	職 名	氏 名	現 職 名
学識関係者	部会長	石 堂 徳 一	石垣市文化協会事務局長
	委 員	青 山 恵 昭	美術家
	委 員	松 田 隆 仁	広報アドバイザー

(3) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会活動経過

■平成26年度第1回運営協議会

日時：平成26年9月19日（金）14:15～16:15

場所：県庁6階 第2特別会議室

内容：

(1) 議題

① 役員を選出について

(2) 報告

① 平成25年度事業実績について

② 平成26年度事業計画・経過報告について

■第2回運営協議会

日時：平成27年3月18日（水）14:00～16:00

場所：平和祈念資料館 2階大会議室

内容：

(1) 議題

① 平成27年度事業計画（案）について

(2) 報告

① 平成26年度事業実績について

- ・ 日系米国人版戦争体験収録事業報告
- ・ 特別企画展「南洋の群星が見た理想郷と戦」事業報告
- ・ 平成26年度類似館調査報告について

② 平成26年度八重山平和祈念館部会報告

③ 平和祈念資料館の運営管理体制の検証及び指定管理者制度導入等の検討について

(4) 八重山平和祈念館部会活動経過

■第1回八重山平和祈念館部会

日時：平成27年3月18日（水）10:00～12:00

場所：平和祈念資料館 会議室

内容：

(1) 報告

① 平成26年度事業実績について

② 前回部会の協議事項の処理状況について

- ・ 高校生平和ガイド養成講座について

③ 八重山平和祈念館の入館者数等について

(2) 協議事項

① 平成27年度事業計画（案）について

Ⅱ 調査研究事業

1 企画展のための調査研究

[目的]

平成26年度 第15回特別企画展「南洋の群星（ムリブシ）が見た理想郷と戦（イクサ）～70年の時を超えて 旧南洋群島ウチナーンチュの汗と血、そして涙～」の充実を図るために調査研究を行う。

- (1) 南洋群島帰還者会，アメリカ・メモリアル・パーク・ビジター・センター，北マリアナ博物館，サイパン歴史資料室、テニアン歴史資料室等などの収蔵資料の調査及び資料借用
- (2) 県内各地の資料館や博物館、教育委員会及び図書館等などの収蔵資料の調査を行う
- (3) 戦前、旧南洋群島へ渡った沖縄県出身者の調査・証言収録・書籍・レポートを中心に戦前・戦中・戦後の研究を行う。
- (4) 南洋群島帰還者会や南洋群島出身関係者から実物資料の調査と借用。

[内容]

旧南洋群島へ移住した沖縄県出身者移民を中心に戦前・戦中・戦後についての調査研究を行う。

- ・旧南洋群島への沖縄移民の歴史と背景
- ・旧南洋群島の学校教育
- ・旧南洋群島と日本との関係
- ・基地建設にかかわった沖縄県出身者
- ・旧南洋群島における戦闘経緯
- ・住民を巻き込んだ旧南洋群島の戦争証言
- ・旧南洋群島の戦いと沖縄戦との関係
- ・捕虜収容所の創設と現状
- ・捕虜収容所の中の孤児院
- ・旧南洋群島からの引揚げ
- ・南洋群島帰還者会の創設と慰霊祭への取り組み

[調査資料館等]

南洋群島帰還者会，アメリカ・メモリアル・パーク・ビジター・センター，北マリアナ博物館，サイパン歴史資料室、テニアン歴史資料室，琉球大学附属図書館
那覇市歴史博物館，うるま市立石川歴史民俗資料館，沖縄県公文書館，宜野座村立博物館，南風原町立南風原文化センター，与那原町教育委員会，沖縄県立博物館・美術館，県内各図書館，市町村教育委員会，琉球新報社，沖縄タイムス社，その他

[調査文献]

- 『沖縄県史1・7』『沖縄県史 各論編5近代』『沖縄県史 資料編15・17・18』
- 『沖縄県史 ビジュアル版9近代⑨ 旧南洋群島と沖縄県人ーテニアンー』
- 『サイパン会誌 思い出のサイパン』『サイパン会誌 心の故郷サイパン』
- 『サイパン会誌 平和を祈念して』『はるかなるテニアン』『南洋群島の研究』
- 『南洋興発(株)の沖縄県人政策に関する覚書ー導入初期の方針を中心としてー』
- 『松本忠徳「自叙傳」』 その他31冊

2 日系米国人版戦争体験収録事業

沖縄県平和祈念資料館は、平和を希求する「沖縄のこころ」を発信し、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、恒久平和の樹立に寄与することを設立理念としている。しかし、戦後70年が経過する中、戦争を体験した方々も少なくなり、貴重な体験の喪失が危惧されている。

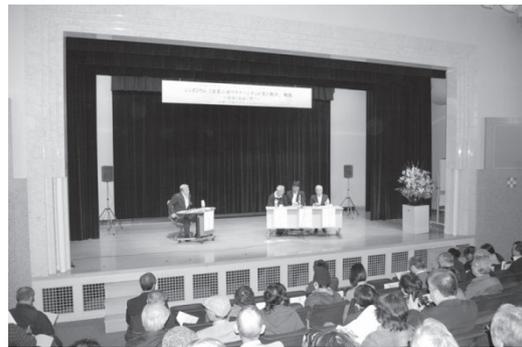
太平洋戦争末期、沖縄では激しい地上戦が繰り広げられ、多数の民間人が戦闘に巻き込まれて犠牲になった。そのような状況の中、アメリカ国籍の陸軍情報部所属の二世兵たちは、自らの危険も顧みず、日本語を使って投降を呼びかけ、壕や洞くつ、墓などに避難していた多数の沖縄の人々を安全な場所に誘導、保護したとされる。

平成24年度から実施している「ウムイ事業」により収録した県民の証言でも二世兵士がたどたどしい日本語で外から呼びかけていたが、信用しなかったという証言が数多くあった。しかし、日系二世米兵側からの証言は今まで公式には収録していなかった。そこで今年度の一括交付金を活用し、当資料館では沖縄戦に従軍した日系米国人の証言やアメリカに忠誠をつくすかどうかで悩み苦しんだ日系人等の戦争体験を収録・発信すると同時に、「日系二世ウチナーンチュが見た戦中・戦後」と題し、12月6日、証言者を当資料館に招き、シンポジウムを開催した。また、8月にはハワイに出向き20名の日系人の戦争体験を収録し、その証言を紹介する移動展示会を2月11日の那覇空港を皮切りに、順次県内外で開催した。

日系人の立場からの証言を多角的に検証し、太平洋戦争、沖縄戦の実相により迫ることで、沖縄戦の教訓を次世代に伝え、恒久平和の樹立に寄与することを目的として取り組んでいる。

シンポジウム「日系二世ウチナーンチュが見た戦中・戦後」

平成26年12月6日開催の様子（県平和祈念資料館1階記念ホールにて）



3 類似館調査

本館の機能充実と有効活用を図るため、国内の類似施設(資料館・博物館等)を中心に、運営と展示の内容と方法、そして活動内容等を視察調査し、今後の当館の事業運営等に役立てる。

[期 間] 平成27年2月17日(火)～2月19日(木)

[調査館]

- ①平和祈念展示資料館
- ②公益財団法人日台交流センター
- ③フィリピン日系人リーガルサポートセンター
- ④ Wam 女たちの戦争と平和資料館
- ⑤一般財団法人台湾協会
- ⑥川崎市平和館
- ⑦地球市民神奈川プラザ

[調査事項]

- ①組織・運営体制について(設立経緯、施設概要等)
- ②外国人対応
- ③教育普及活動について
- ④その他
ア、琉球・沖縄関係資料等の有無について
イ、次年度特別企画展に関連する資料の収集

[調査者]

福里竜也(沖縄県平和祈念資料館学芸主査)
大城健資(沖縄県平和祈念資料館嘱託学芸員)
青山恵昭(沖縄県平和祈念資料館運営協議員)



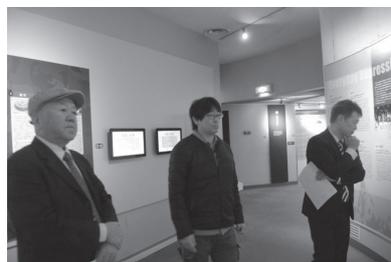
あーすぷらご神奈川



平和祈念展示資料館



一般財団法人台湾協会



川崎市平和館

4 第21回日本平和博物館会議

日本平和博物館会議は、戦争の惨禍を人々に伝え、平和の実現に資することを目的とする博物館等が協力して調査・研究を行うことにより、相互の連携を図りつつ、平和推進事業の一層の発展を期することを目的とする。

[開催期日] 平成26年11月13日(木)～11月14日(金)

[開催場所] 長崎原爆資料館(長崎県)

[参加博物館]

- ・長崎原爆資料館(H26年度事務局)
- ・川崎市平和館
- ・立命館大学国際平和ミュージアム
- ・大阪国際平和センター ピースおおさか
- ・広島平和記念資料館
- ・沖縄県平和祈念資料館
- ・神奈川県立地球市民かながわプラザ
- ・ひめゆり平和祈念資料館
- ・埼玉県平和資料館



[会議の様子]

[参加者] 館長 國仲 功、主査 福里竜也

[議事]

- ・協議題1「戦後70年の共同事業を提案」
- ・協議題2「次の世代へ語り継ぐことの取り組み」
- ・協議題3「近年の平和に関する諸課題をどのように展示に反映させるか」
- ・聴取事項について
- ・次回開催館の紹介 ※H27は川崎市平和館
- ・その他

[視察] ・長崎原爆資料館 ・原爆死没者追悼平和祈念館 ・稲佐山
・長崎原爆遺跡 ・旧城山国民学校校舎 等



[長崎原爆資料館視察の様子]



[旧城山国民学校校舎視察]



Ⅲ 展示企画事業

1 常設展

(1) 展示構成

常設展示は1階と2階の2つのゾーンで構成されている。

〔歴史を体験するゾーン〕

2階の「歴史を体験するゾーン」は、来館者が沖縄戦及び戦後の歴史的体験をとおして平和の尊さや戦争の悲惨さを知り、この歴史的教訓を次の世代へと継承していくねらいがあり、5つの展示室で構成される。

第1展示室「沖縄戦への道」

沖縄が日本の国家体制に組み込まれていく過程を琉球処分からアジア・太平洋戦争末期の沖縄戦前夜までの映像や写真パネルで解説する。

第2展示室「住民の見た沖縄戦―鉄の暴風―」

およそ3ヶ月に及んだ地上戦の経緯と住民犠牲の諸相について、映像と造形物であらわす。被弾した旧沖縄県庁の門柱や糸満市に現存する水タンクなど、破壊し尽くされ、瓦礫と化した街のようすを原寸で再現した造形物が沖縄戦の凄まじさを物語る。

第3展示室「住民の見た沖縄戦―地獄の戦場―」

空間全体が戦場をイメージして作られる。軍民入り乱れた戦場での住民犠牲の出来事を写真パネル、焼け焦げた衣服や当時の水が入った水筒などの実物資料を展示する。また、住民や日本兵の避難場所に利用された、ガマ(自然の鍾乳洞)とその中で起こった出来事が造形物で再現される。

第4展示室「住民の見た沖縄戦―証言―」

旧資料館の証言展示を踏襲しながら、新たに離島や北部の証言を加え、犠牲を強いられた一般住民の心の叫びを証言文と証言映像で紹介する。沖縄戦を直接体験した人々が重い口を開いて語ってくれた証言は、歴史の真実として心にじかに訴える。

ニュートラルゾーン

第4展示室と第5展示室との間にある壁面には、旧資料館から受け継いだ「展示～むすびのことば～」が掲げられている。

第5展示室「太平洋の要石」

終戦後の収容所生活から27年間の米軍統治を経て1972年5月15日に沖縄が日本復帰を果たすまでの住民のようすや政治状況を実物資料、写真パネル、造形物、映像などで展示する。米軍の沖縄統治の状況、土地闘争、基地に起因するさまざまな問題、復帰運動、さらには「太平洋の要石」と呼ばれて今日まで続く「基地の島」沖縄の実態が浮かび上がる。

これらの展示は、県民をはじめ、平和学習や平和交流、慰霊などで訪れた県外や海外からの来館者が沖縄の歴史的体験をできるように構成される。また、観光バスツアーなど、見学時間が短い来館者にも配慮し、短時間で沖縄の歴史が概観できる設定となっている。

〔未来を展望するゾーン〕

1階の「未来を展望するゾーン」の展示は参加型となっており、主に児童・生徒を対象にしている。子ども・プロセス展示室は、未来を担う子どもたちが積極的に平和を愛する心を育むためのもので、大きく3つのゾーンに分かれる。

「ぬちどう宝・せかいの子どもたち」コーナー

さまざまな国の子どもたちの学校の様子、友だち、遊びのことなどを紹介し、かけがえのない命、そしてぬちどう宝・せかいの子どもたち・いのちのわ(輪)についてメッセージを発信する。

「いま、世界で何が…」コーナー

やまない戦争・紛争、人権問題、環境破壊などを取り上げ、その原因や解決方法を考える機会を提供する。

「わらびな一(庭)」コーナー

展示物に触れながら遊びをとおして多様性と共通性に気づき、異文化を認め理解し合う。また、展示内容に関する子ども・プロセス企画や学習作品の展示を行う「ひろば・ゆいまーる」というスペースがあり、平和活動に貢献した人々の言葉を若い世代へ送るメッセージとして展示する。

なお、この階には1クラス程度の子どもたちが一度に利用できるスペースと観覧後の疑問を調べるための**情報ライブラリー**が設置され、一般図書、児童図書など約1万2千冊のほかに、平和学習のためのビデオなどが備えられており、子どもたちの質問への対応や資料調べのためのアドバイスなどの学習支援活動を実施する。

(2) 展示資料の充実等

- ①常設展示室2Fの殆ど全ての映像機器（LDプレーヤーからブルーレイディスクプレーヤー）とコントローラー、映像ディスク（LDディスクからDVDディスク）を刷新した。
- ②常設展示室2Fの1室と5室の年表パネルを刷新した。
- ③企画展示室の照明装置をLED照明に刷新した。

2 企画展

(1) 第15回特別企画展

「南洋の群星（ムリブシ）が見た理想郷と戦（イクサ）」

～ 70年の時を超えて 旧南洋群島ウチナーンチュの汗と血、そして涙～

①場所・開催期間

沖縄県平和祈念資料館 企画展示室：平成26年10月9日（木）～12月11日（木）

八重山平和祈念館 第2展示室：平成27年1月17日（土）～2月26日（木）

②趣旨

今から約90年前、不況の沖縄県から多くの県民が旧南洋群島に希望を持って移住した。当時、移植先として一番人気が高く、約5万人の県民が旧南洋群島に移り住んでいた。そこで沖縄県出身者（ウチナーンチュ）は、キビ栽培や漁業に励み、平和で心豊かな生活を築き上げてきた。しかし70年前、沖縄戦の約1年前に旧南洋群島ではサイパンやテニアンを中心に日米の大きな戦争があり、わずか数週間の戦いであったが沖縄戦と同様に、沖縄県出身者（ウチナーンチュ）が地上戦に巻き込まれ大きな犠牲を強いられた。戦時中、住民は敵の捕虜になることを認められず、米軍の呼びかけにも応じない状況であった。その中で、住民同士による集団死が各地で行われるなど、悲惨な状況の下で沖縄県民は希望を持ってない中生き残ってきた。戦後、外地引揚げで沖縄へ戻って来たが、収容所からゼロからの出発であった。

国策や貧困から抜け出す為、旧南洋群島へ希望を持ち、たくましく生活基盤を作ってきた沖縄県出身者（ウチナーンチュ）。また、日米の戦争の中で集団死などの地獄を経験し、引揚げとして沖縄へ戻って来た旧南洋群島の沖縄県出身者（ウチナーンチュ）がいたことは県民に深くは知られていない。今年、南洋群島戦争終結70年であり、彼等の一連の旧南洋群島での体験を今を生きる私たちに伝えることで、戦争の愚かさや平和の尊さについて考え、平和を希求する、「沖縄の心」を発信する機会とする。



③展示内容

第Ⅰ部：生まれ島から希望の島へ～第二の故郷として～

- (1) 旧南洋群島と日本
- (2) 旧南洋群島へ渡ったウチナーンチュ移民
- (3) 戦略的な価値としての旧南洋群島

第Ⅱ部：希望の島から玉砕の島へ～もう一つの沖縄戦～

- (1) サイパン島・テニアン島・ペリリュー島の戦闘経緯
- (2) ウチナーンチュが見た地獄の地上戦
- (3) 終戦 南雲司令長官最後の訓示から沖縄戦へ
- (4) 収容所

第Ⅲ部：玉砕の島から捨て石の島へ～引揚げ 受け継がれる慰霊の心～

- (1) 沖縄への引揚げ
- (2) 南洋群島帰還者会の創設と今も続く現地慰霊祭
- (3) 語り継ぐ ～記憶を紡ぎ 未来へ繋ぐ～



④観覧者数（20,476人）



開会式の様子



観覧の様子

(2) 平成26年度子や孫につなぐ平和のウムイ事業成果報告展

平成24年度から平成25年度の2年間に渡り、復帰40周年記念事業の一つとして「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」が実施された。平成24年度は、「戦争体験証言収録事業」の拡大版として50件分を収録した(編集は平成25年度)。また「家族に語り継ぐ平和のウムイ事業」では戦争体験者が家族に戦争体験を語る様子を300件撮影・編集した。平成25年度は、それらの映像を当館映像ブースにアップロードし、公開した。また基調講演とパネルディスカッション、さらに成果報告展を県内7ヵ所で開催した。成果報告展については、しっかりとした評価を頂いたが、課題として、とくに当館における実施期間が短かったという意見が寄せられた。そこで、本年度、当事業の成果報告展を改めて当館において実施することとした。期間も2か月間確保することにより、沖縄戦の教訓を次代に伝え、恒久平和の樹立に寄与するとともに、当館の設立理念の具体化を図るための報告展とする。

子や孫につなぐ平和のウムイ事業
家族の過去への想像力、
未来の平和への創造力。

成果報告展
平成26年6月23日(月)~8月30日(土)
場所：沖縄県平和祈念資料館1階 企画展示室
時間：9時~17時まで(入場無料)

戦後69年が経過し、戦争体験者が減少しているが、沖縄戦の歴史的教訓を次の世代に継承し、平和創造の原動力とする必要があると考えています。
当館が平成24年度より2年間実施した「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」で、戦争体験者が家族に平和へのウムイ(思い)を語りかける様子などを含む350件の戦争体験を収録しました。
その成果報告展を昨年に引き続き、今年度も当館にて期間を延長して実施致します。
成果報告会場では証言映像とその紹介パネル、証言冊子をご覧頂けます。
是非この機会に沖縄県平和祈念資料館、成果報告会場にお運び頂き、平和への「ウムイ」を共につないでいきましょう。

【期間】 平成26年6月23日(月)~8月30日(土)

【場所】 企画展示室

【見学者数】 総計 4,247名

【観覧者アンケート回答より】 ※抜粋

- ・展示内容不備についての指摘 1件(証言者名の修正)
- ・回答者のほとんどが、ウムイ事業の取り組みについて賛同、評価している。
- ・展示方法等について、下記の要望があった。

○より詳しい説明がほしい。2名

○子どもでも理解しやすいようなことばで展示してほしい。2名

○写真をより多く展示して欲しい。

○外国語でも対応して欲しい。(英語、中国語、韓国語)・・・2名

○目の悪い方(お年寄り等)もいるので、音声案内も対応して欲しい。

○ビデオなど展示を解説した資料をもらいたい。

○「証言集」として世に出して見てはどうか。

(3) 企画展 「絵本原画展とオーサーズトーク」

平成 25 年度、沖縄全戦没者追悼式で朗読された児童生徒の平和メッセージ、詩部門小学校低学年の部最優秀賞受賞作品、久部良小学校1年安里有生君の「へいわってすてきだね」の絵本化を記念して、絵本作家の長谷川義史さんが描いた絵本の原画展を今年度慰霊の日から 8 月 15 日まで 1 階企画展示室で開催しました。また、開催を記念して長谷川先生をお招きしてのオーサーズトークを開催し、絵本作成に至る経緯や、与那国への取材の様子、安里君に会いに与那国へ行ったこと、作画で苦勞したことなどをお話ししていただきました。



(4) 「日系米国人版戦争体験収録事業」成果

平成 26 年度一括交付金を活用して、沖縄戦に従軍した日系米国人の証言や戦争体験を収録・発信すると共に成果報告展を開催した。

平成 27 年 2 月 11 日から 2 月 15 日までの那覇空港展を皮切りに、

21 日から 2 月 27 日まで J I C A 横浜移民歴史資料館にある J I C A 横浜プラザで開催、さらに 3 月 1 日から 3 月 5 日まで羽田空港国際線ホールにおいて、日系二世の戦争体験展示会を県外で初めて開催した。また、3 月 21 日から 6 月 30 日の期間、当館においても成果報告展を開催した。



(5)子ども・プロセス企画展

第1回「沖縄戦への道 -70年前、その時、何が…-」

今年は、沖縄守備軍の配備やサイパンの戦い、学童疎開、対馬丸遭難、10・10空襲など沖縄戦につながる様々な出来事が70周年を迎える。この機会に、なぜ沖縄が戦場になったのか、どのように戦争の準備が進められたのかについて展示する。

[期間] 平成26年6月2日(月)～7月7日(月)

[内容]

- ①太平洋戦争の概要説明
- ②70年前、その時、何が…
(1944年1月～8月の出来事を紹介)
- ③比べてみよう！ 70年前の子どもたち
(戦時中の小学生のようすを紹介)

[観覧者数] 12,736名



第2回「チャレンジ！ 夏休み自由研究 -沖縄戦について調べてみよう-」

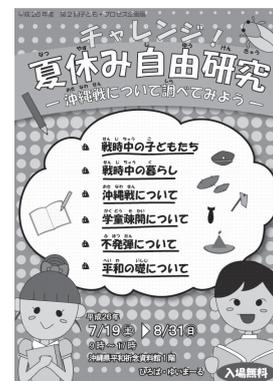
夏休みの機会に、子どもたちに沖縄戦に関心を持ってもらう企画として、夏休みの自由研究についてのヒントなどを紹介する展示を行う。

[期間] 平成26年7月19日(土)～8月31日(日)

[内容]

- ①自由研究の進め方やテーマ選びのヒント
- ②研究テーマの紹介・解説
 - ・戦時中の子どもたち
 - ・戦時中の暮らし
 - ・学童疎開
 - ・沖縄戦
 - ・不発弾
 - ・平和の礎
- ③自由研究のまとめ方(研究ノートや新聞)を紹介

[観覧者数] 7,354名



第3回「沖縄戦への道 70年前、その時、何が…2

-10・10空襲、そして県民総動員へ-

10・10空襲や中学生等の県民総動員について展示する。

[期間] 平成26年9月19日(金)～11月20日(木)

[内容]

- ①太平洋戦争の概要説明
- ②70年前、その時、何が…
(1944年9月～1945年3月の出来事を紹介)
- ③中学生と戦争(戦時下の中学生、中学生の沖縄戦動員)

[観覧者数] 14,369名



第4回「人権展 ―自分らしく生きるために―

多く子どもたちに人権について関心を持ってもらうために、日々の生活場面における諸問題を取り上げ、それがなぜ人権に関わることなのか、その理解をうながす展示を行う。そして子ども自身が等身大の自分自身のこととして受けとめ、主体的な人権意識を持ち積極的な行動がとれるよう、より深く考える場とする。

[期間] 平成26年12月4日(木)～平成27年2月15日(日)

[内容]

- ①人権について
- ②身近な人権意識(質問形式での問いかけ)
- ③人権を獲得するために闘う人たち
2014年ノーベル平和賞受賞者2名の紹介
世界の多くの児童が直面している教育と労働
人権運動活動家の紹介
- ④身近な人権侵害
人権を侵害する差別表現、障害者への差別、
いじめ、身近に起こりうる人権問題など

[観覧者数] 10,003名



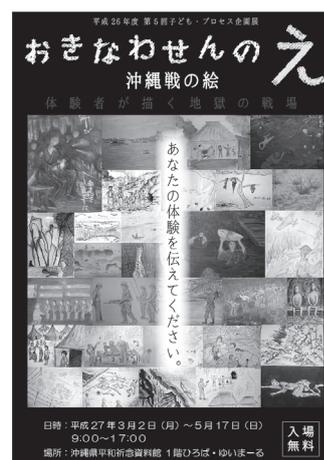
第5回「沖縄戦の絵 ―体験者が描く地獄の戦場―

沖縄戦の実相を正しく伝えるためには、体験者の証言が最も重要であるが、高齢化が進み、その体験を直接聞く機会が年々減少している。そこで、沖縄戦の体験者が描いた絵(約290点)を展示し、子どもたちが体験者の証言に接する機会にする。

[期間] 平成27年3月2日(月)～5月17日(日)

[内容]

- ①戦争体験を記録すること
- ②鉄の暴風 ―戦場になった沖縄の島々―
- ③戦場の住民 ―戦火に追われて―
- ④あなたの戦争体験を絵にしませんか
- ⑤戦争体験を継承すること
- ⑥閲覧コーナー



IV 収集資料・活用事業

1 新収蔵品目録（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(1) 実物資料

16個人、2団体から、54件145点の資料寄贈がありました。

NO	寄贈日	資料名	数	寄贈者
1	H26.4.1	「補助金」綴 S47-H5, H6-H9, H10-H15, H16-H20, H21-H25	5	財団法人沖縄県傷痍軍人会
2	H26.4.1	「評議員会」資料 H10-H15, H16-H20, H21-H25	3	財団法人沖縄県傷痍軍人会
3	H26.4.1	日傷月刊綴 財団法人日本傷痍軍人会	1	財団法人沖縄県傷痍軍人会
4	H26.4.1	写真（沖縄傷痍軍人関係）	65	財団法人沖縄県傷痍軍人会
5	H26.4.1	新聞記事 （身体障害者更生施設基金募集慈善興業）	3	財団法人沖縄県傷痍軍人会
6	H26.5.31	太田敏氏遺書	1	濱田満喜子（大阪府摂津市）
7	H26.6.7	野津唯市氏「散華は惨い」油絵 100号	1	野津唯史（那覇市）
8	H26.6.19	新垣樽良氏手帳	1	仲嶺嶺子（沖縄市美原）
9	H26.6.19	通信訓練必携（複写）	1	山城安勝（那覇市泉崎）
10	H26.6.25	三和村真栄平青年团团旗	1	仲吉勇（糸満市）
11	H26.6.25	砲弾の破片	1	金城進一（糸満市）
12	H26.7.24	風鈴	1	羽地郁枝（八重瀬町）
13	H26.7.24	寄せ書き	1	羽地郁枝（八重瀬町）
14	H26.7.27	日本海軍制服	1	有銘祐子（那覇市）
15	H26.9.25	戦後資料① 基地関係資料	1	沖縄県文化振興会
16	H26.9.25	戦後資料② 犠牲者数救援関係	1	沖縄県文化振興会
17	H26.9.25	戦後資料③ 原水禁関係資料 県原水協 三県連	1	沖縄県文化振興会
18	H26.9.25	戦後資料④ 反合闘争	1	沖縄県文化振興会
19	H26.9.25	戦後資料⑤ 復帰関係資料No.3	1	沖縄県文化振興会
20	H26.9.25	戦後資料⑥ 沖縄の復帰に伴う関係法令 の改廃に関する法律案	1	沖縄県文化振興会
21	H26.9.25	戦後資料⑦ 沖縄復帰に伴う特別処置に 関する法律案	1	沖縄県文化振興会
22	H26.11.26	旧日本軍 94式3号無線機	1	吉江史扇
23	H26.11.26	旧日本軍 蓄電池	1	吉江史扇
24	H26.12.4	糸数むめ氏 旧南満州鐵道株式會社吉林 医院勤務証明書	1	新垣恭子
25	H26.12.4	糸数むめ氏 旧満州国吉林局吉林満鉄病 院勤務証明書	1	新垣恭子
26	H26.12.4	糸数むめ氏 旧満州時代関連写真 大小	16	新垣恭子
27	H26.12.19	旧日本軍 三十年式銃剣	1	上江洲朝清
28	H26/12/23	旧日本軍 軍服（上着）	1	松島寛行
29	H26/12/23	旧日本軍 外套	1	松島寛行
30	H27/3/7	眼鏡	1	城間加真
31	H27/3/7	懐中時計	1	城間加真
32	H27/3/7	花瓶	1	城間加真
33	H27/3/7	炭化した米	1	城間加真
34	H27/3/7	階級章	1	城間加真
35	H27/3/7	キセル（先端のみ）	1	城間加真
36	H27/3/7	髪差し（ジューファー）	1	城間加真
37	H27/3/25	戦時貯蓄債権	3	横田チヨ子
38	H27/3/27	三線（爪付き）	1	永山幸栄
39	H27/3/27	日本軍軍服（冬服上着のみ）	2	永山幸栄
40	H27/3/27	ビデオ「第25回全国南洋会沖縄大会」	1	永山幸栄
41	H27/3/27	ビデオ「第25回全国南洋会沖縄大会記念 観光」	1	永山幸栄
42	H27/3/27	ビデオ「全国南洋会サイパン大会記録」	1	永山幸栄
43	H27/3/27	ビデオ「第27回南洋群島慰霊墓参」	1	永山幸栄
44	H27/3/27	ビデオ「第20回パラオ慰霊墓参と親善訪 問の旅」	1	永山幸栄
45	H27/3/27	ビデオ「全国戦没者追悼式と東北の旅」	1	永山幸栄
46	H27/3/27	ビデオ「南洋ざくらは知っているサイパ ンの戦争と平和」	1	永山幸栄
47	H27/3/27	南洋群島協会会報第213号	1	永山幸栄
48	H27/3/27	南洋群島協会会報第214号	1	永山幸栄
49	H27/3/27	南興會便り	1	永山幸栄

50	H27/3/27	サイパン戦体験記 杉山蔵男	1	永山幸栄
51	H27/3/27	月刊 東京	1	永山幸栄
52	H27/3/27	サイパン島東村チャッチャ校区名簿	1	永山幸栄
53	H27/3/27	写真集1 (コピー10枚綴り)	1	永山幸栄
54	H27/3/27	写真集2 (コピー10枚綴り)	1	永山幸栄

(2) 図書資料 (DVD 等含)

5名の方から、5点の図書資料 (DVD 等含む) 寄贈がありました。これらは当館内の情報ライブラリーにて閲覧できます。

No.	寄贈日	資料名	数	寄贈者
1	H26. 4. 19	絵本	1	本橋祥子 (東京都)
2	H26. 5. 15	D V D 「THE CONSCIENTIOUS OBJECTOR デスマンド・ドス～良心的兵役拒否者～」	1	吉田吉雄 (南城市)
3	H26. 6. 21	書籍「死闘ー沖縄戦体験記ー」	1	比嘉文子 (那覇市)
4	H26. 7. 24	書籍「十一歳の少女の戦場体験記」 昭和十九年～二〇年沖縄	1	赤嶺小枝子 (那覇市)
5	H26. 12. 11	書籍「戦争体験記26号サイパン・テニアン記 バンザイ・クリフー自殺の断崖ー」	1	宮城恒彦 (豊見城市)

2 資料貸出

(1) 写真パネル、実物、児童・生徒の平和メッセージ展パネル等の教育現場、公共機関等への貸出

資料館では、写真パネル (計 201 点)、沖縄戦実物資料 (20 種類)、児童・生徒の平和メッセージ展図画・作文・詩入選作品パネル、世界人権宣言絵画パネル一式 (35 枚一式)「沖縄戦の絵」複製パネル (52 点) 等を貸し出しております。

平成 26 年度は、県内外あわせて 計 45 件、438 点の貸出をしました。

(県内) 28 件 186 点

	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	那覇市立真和志小学校	平和学習キットA、B 沖縄戦証言ビデオ	2 4	4/2 ~ 4/17
2	糸満市立西崎小学校	平和学習キットA、B	2	4/28 ~ 5/12
3	那覇市立泊小学校	平和学習キットA	1	4/17 ~ 4/29
4	豊見城市立とよみ小学校	沖縄戦証言ビデオ 沖縄戦実物資料 平和学習キットA、B	5 11 2	5/7 ~ 5/22 6/1 ~ 6/30 6/18 ~ 6/30
5	糸満市立糸満小学校	平和学習キットB、C	2	5/9 ~ 5/20
6	県立前原高等学校	沖縄戦証言ビデオ 平和のウミDVD	1 1	5/14 ~ 5/28 "
7	南城市立大里北小学校	平和学習キットA	1	5/16 ~ 5/29
8	南城市立百名小学校	沖縄戦実物資料	14	5/22 ~ 6/13
9	沖縄アミークスインターナショナル	沖縄戦実物資料 沖縄戦写真パネル	4 16	5/23 ~ 6/23 "
10	栗国村立栗国小中学校	平和学習キットC、D	2	5/26 ~ 6/6
11	県立那覇特別支援学校	沖縄戦実物資料	3	5/27 ~ 6/30
12	那覇市立真嘉比小学校	沖縄戦実物資料	18	5/28 ~ 6/25
13	県立中部商業高校	沖縄戦の絵複製パネル 平和メッセージ展入賞作品	6 9	6/2 ~ 6/30 "
14	西原町中央公民館	平和学習キットA、B 平和学習キットC、D	2 2	5/29 ~ 6/11 6/11 ~ 6/25
15	沖縄市立美里中学校	沖縄戦写真パネル	14	6/4 ~ 6/10
16	県立向陽高等学校	沖縄戦実物資料 平和学習キットA、B	6 2	6/6 ~ 6/20 "
17	沖縄県平和祈念資料館友の会	沖縄戦実物資料	4	6/9 ~ 6/14
18	与那原町立与那原東小学校	沖縄戦写真パネル	3	6/8 ~ 6/29
19	県立鏡が丘特別支援学校	平和学習キットD	1	6/7 ~ 6/21
20	那覇市立古蔵小学校	平和学習キットC	1	6/9 ~ 6/20
21	県立西原高等学校	沖縄戦実物資料	5	6/10 ~ 6/25
22	座間味村立座間味小中学校	沖縄戦実物資料	4	6/13 ~ 7/2
23	県立コザ高等学校	平和キットA	1	6/23 ~ 6/25
24	夢咲学園 (精華学園高等学校)	平和学習キットB、C	2	6/24 ~ 6/26
25	南風原町役場	平和メッセージ展入賞作品	3	10/3 ~ 10/20
26	那覇市立石嶺小学校	平和学習キットB、C	2	10/16 ~ 11/1
27	読谷村役場	H 21 特別企画展資料	10	H27/1/13 ~ 2/6
28	座間味村役場	沖縄戦写真パネル 平和メッセージ展入賞作品	18 2	H27/3/20 ~ 4/8 "

(県外) 17件 252点

	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	新潟県十日町総合高等学校	沖縄戦写真パネル 沖縄戦の絵	16 4	5/1 ~ 5/12 〃
2	大阪府和泉市富秋中学校	沖縄戦証言ビデオ	3	5/15 ~ 5/29
3	京都府城陽市役所	沖縄戦写真パネル	20	7/9 ~ 7/18
4	連合千葉	沖縄戦写真パネル	15	7/9 ~ 7/16
5	関西創価高等学校平和研究会	沖縄戦写真パネル	20	7/11 ~ 7/19
6	東京都港区役所	沖縄戦写真パネル	20	7/25 ~ 8/22
7	自治労岐阜県本部西濃ブロッ ク協議会	沖縄戦実物資料 沖縄戦写真パネル	8 12	7/25 ~ 7/27
8	京都府相楽郡精華町役場	沖縄戦写真パネル	5	7/25 ~ 8/22
9	連合秋田	沖縄戦写真パネル 沖縄戦の絵	15 5	7/28 ~ 8/5 〃
10	長崎県立長崎東中学校	平和学習キットC	1	7/28 ~ 8/28
11	茨城県那珂市役所	沖縄戦写真パネル	20	7/31 ~ 8/30
12	新潟県柏崎市立図書館	沖縄戦写真パネル	20	8/1 ~ 8/25
13	福島県棚原町平和のための資 料展実行委員会	① 沖縄戦写真パネル ② 沖縄戦の絵 ③ 平和学習キットA、B	15 5 2	8/5 ~ 8/12
14	埼玉県立日高高等学校	① 沖縄戦実物資料	4	9/29 ~ 10/7
15	佐倉市役所	沖縄戦写真パネル	20	1/16 ~ 1/29
16	生活協同組合共立社	① 沖縄戦写真パネル	20	2/5 ~ 2/13
17	嘉悦ケンブリッジ教育文化セ ンター (英国)	① 平和学習キットA、D	2	2/16 ~ 3/16

(2) 証言映像の貸出

戦争体験証言ビデオや収容所生活等の映像資料で、県内外の人々により深く、沖縄戦の実相と平和の尊さを伝えることを目的に貸し出しを行っております。近年は修学旅行前の事前学習の教材として利用したいとの申し込みが学校現場より増えております。

[概要]

貸出本数 合計 33件 94本

(県外19件 53本、県内 14件 41本)

- 貸出ビデオ ①VHS 証言ビデオ28巻 (原則として1本に3名分、計81名分の証言)
 ②VHS 『やーさん ひーさん しからーさん 一集団疎開学童の証言一』
 ③VHS 『そして僕は生き残った』
 ④DVD (DVD-RAM) 「強制集団死 (集団自決) に係る証言映像」
 ⑤DVD 『平和のウメイ』30巻 (1巻10名、計300名分の証言)

※貸出期間は原則として2週間以内、貸出本数は原則5本以内とする。

【新証言映像の貸出開始です】

平成26年度より、「子や孫につなぐ平和のウメイ事業 (H24年度～H25年度事業)」にて収録したDVD (全30巻)の貸出しをはじめました。1巻に10名の方の証言映像を収録しております。

平成27年度より、「子や孫につなぐ平和のウメイ地域版セット」の貸出もスタートします!

6地域 (北部、中部、那覇南部、久米島、宮古島、石垣島) ごとに、証言DVD、パネル、証言集をセットにしました。こちらも、ご活用ください。

子や孫につなぐ平和のウメイ事業

家族の過去への想像力、
未来の平和への創造力。



戦後65年が経過し、戦争体験者が減少していきながら、沖縄戦の歴史的教育を次の世代に継承し、平和意識の醸成力とする必要のあるときです。

そこで、再年度より実施している「子や孫につなぐ平和のウメイ」事業で体験者が家族に平和へのウメイ (思い) を語りかける様子などを収めた30巻の戦争体験を収録しました。

30巻はそれぞれの地域を、当時体験アースで公開致します。合わせて沖縄戦の教育をどのようにして次代へ継承していくのかと題してワークショップ (体験者同士のネットディスカッション) を行い、さらに戦争責任を問うための問いかけとその回答を収録致します。

是非この機会に沖縄県平和記念資料館 (戦争体験者の思い) をご覧下さい。平和への「ウメイ」を共につないでいきましょう。

3 撮影・掲載等利用一覧

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
1	ユニフォトプレスインターナショナル代表取締役 太田東洋男	沖縄戦米軍記録写真 0233 沖縄県平和祈念資料館展示のむすびの言葉 平成 28 年度版 『社会科 中学生の歴史-日本の歩みと世界の一』への掲載	2	4/1
2	学校図書株式会社 細川貴史	写真「県平和祈念資料館外観と礎」 平成 28 年度版 文部科学省検定教科書『TOTAL ENGLISH 』への掲載	1	4/5
3	大阪大学大学院人間科学研究科 玉城福子	館内撮影「沖縄守備軍の展開と飛行場建設」「ガマ(避難民・日本兵)」「基地の街」「A サインバー」卒業論文及び『女性・戦争・人権』13号にて掲載	4	4/9
4	沖縄タイムス 記者 知念清張	沖縄戦の絵「赤ちゃんを泣かすな」上間信治 タイムスワラビー「沖縄戦を学ぼう特別編」2014.5.12掲載	1	4/15
5	株式会社講談社 児童図書 第一出版部 片寄太一郎	H21 児童生徒の平和メッセージ 詩部門 小学生の部 最優秀賞「平和のいのり」 書籍「ガマ 遺品たちが語る沖縄戦」にて掲載 2014.6月発刊予定	1	4/16
6	鈴鹿市生活安全部人権政策課 課長 河内正人	資料館ホームページ「平和学習」掲載の「沖縄戦」について 企画展「2014 平和への祈り展」にて展示	1	4/16
7	世田谷区教育委員会事務局教育 相談特別支援課長 小淵由紀夫	沖縄戦米軍記録写真 0140 0301 0771 せたがや平和資料室特別展・地域巡回展(3箇所)・中学校巡回展(区内10中学校)	3	4/18
8	沖縄タイムス社 記者 謝花直美	標準語励行関連資料2点(方言札、雑誌『民芸』防諜関連ポスター 沖縄タイムス連載(しまくとぅば関連企画)2014年5月下旬予定	3	4/22
9	那覇市歴史博物館 館長 古塚達朗	『沖縄県平和祈念資料館総合案内』46頁掲載「大政翼賛会」の図 企画展「沖縄戦～戦時体制下の沖縄～」への展示及び図録掲載	1	4/22
10	加古川市立神吉中学校 結城知夏	沖縄戦米軍記録写真 0009 0015 0022 0024 0051 0069 0075 0078 0122 0132 0140 0144 0150 0168 0207 0222 0230 0233 0235 0287 修学旅行事前学習にて活用	20	4/23
11	阪尾ユキエ	具志堅徳信・ヨシの証言ビデオ 両親の証言	1	4/25
12	沖縄タイムス社 記者 安里努	ウムイ事業パネル タイムスワラビー「沖縄戦を学ぼう特別編」2014.5.12掲載	20	5/1
13	日本テレビ放送網株式会社 報道局社会部 横山武信	第3展示室「病院壕内を再現したジオラマ」 日本テレビ報道番組 news everyにて 2014.6.23前後放映予定	1	5/1
14	株式会社講談社 児童図書 第一出版部 片寄太一郎	沖縄戦米軍記録写真 0017 0224 0296 0358 0371 0613 0639 書籍「ガマ 遺品たちが語る沖縄戦」にて掲載 2014.6月発刊予定	7	5/3
15	株式会社光文社女性自身 編集部 田邊浩司	沖縄戦米軍記録写真 0140 0205 0232 女性自身 5月13日発売号掲載予定	3	5/5
16	朝日新聞大阪本社 編集センター 辻森尚仁	沖縄戦米軍記録写真 0132 朝日新聞教育指導別冊「知る沖縄戦」2014年6月上旬無料配布	1	5/16
17	琉球大学教育学部附属中学校 高江洲亮	沖縄県平和祈念資料館 HP 平和学習「沖縄戦について」 各学年掲示板にて掲示 期間：平成26年6月13日～27日	17	5/19
18	北村毅	アブチラガマ平面図 『集団精神療法』(2014年)への掲載	1	5/19
19	金武町教育委員会 教育長 比嘉貴一	第1・2・3・4 展示室遠景 むすびの言葉 方言札 軍人勅諭 鹿山文書 「皇民化政策展示」パネル等 慰霊の日資料展にて展示	19	5/20
20	日本放送協会沖縄放送局 局長 向江隆文	沖縄戦の絵 NHK 沖縄放送局ホームページにて公開 2014.12.1予定	100	5/21
21	沖縄テレビ放送 登川二奈	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 2014年5月22日以降のOTV スーパーニュースにて放映	1	5/22
22	琉球新報社 代表取締役 富田詢一	沖縄戦米軍記録写真0019,0132,0140,0233,0296,0371,0613,0626 0639,0771 新報小中学生新聞『りゅうPON!』2014.6.15掲載	10	5/26
23	琉球新報社 社会部 石井恭子	首里高等女学校43期生入学写真、沖縄戦米軍記録写真0183,0232,0233, 0234,0246,0251,0252,0254,0297,0298「高校生向け沖縄戦特集」6月9日掲載	11	5/26
24	与那原教育委員会生涯学習 振興課 課長 宮平律子	沖縄戦米軍記録写真0017,0018,0166,0174,0262,0298,0295,熊本県内疎開状況地図、沖縄県学童集団疎 開状況、米軍作成の沖縄地図、総合案内(38,39,61P)与那原町平和の日・慰霊の日企画展への展示	13	5/27
25	琉球朝日放送 大矢英代	沖縄戦米軍記録写真 0090,0268,0270 琉球朝日放送ニュース Q+ 2014年6月2日(月)で放映	3	5/29
26	宜野湾市教育委員会 教育長 玉城勝秀	沖縄戦米軍記録写真 0019,0032,0039,0041,0075,0078,0138,0224,0282,0287,0311,0462,0551, 0560,0562,0619,0647,0644,0758等 企画展「イクサユースジのーん(戦世の宜野湾)」掲載	24	6/3
27	東京新聞(中日新聞東京本社) 社会部長 瀬口晴義	サイパン戦写真資料 S07,S12 東京新聞朝刊(6月中旬)掲載	2	6/3
28	東京新聞 生活部 三浦耕喜	沖縄戦米軍記録写真0172,0300戦後の沖縄関係資料「B型軍票」「HB上着」 「730交通標識」画像 東京新聞「A to Z」面(6月23日)掲載	5	6/3
29	琉球新報社 松永勝利	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 琉球新報 慰霊の日別刷特集号掲載	1	6/3
30	NHK 制作局文化福祉番組部 新田義貴	鹿山文書 NHK ETV 特集「しまくとぅば特集」(仮題)10月9日放映	1	6/4
31	株式会社 サ・ワークス 鈴木淳司	沖縄戦米軍記録写真 0120,0131,0253 テレビ東京「おしかけスピリチュアル」6月10日放映	3	6/6
32	NHK 制作局文化福祉番組部 新田義貴	球軍会報 方言札 NHK ETV 特集「消えゆく島言葉たち(仮題)」10月14日放映	2	6/7
33	赤旗日曜版編集部 山本豊彦	沖縄戦米軍記録写真 0085,0232,0613 赤旗・日曜版 2014年6月22日号掲載	3	6/9

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
34	琉球大学教育学部附属中学校 高江洲亮	平和祈念資料館 HP 掲載 平和学習「沖縄戦について」説明文、地図(7枚) 「平和学習教材」沖縄戦 Q & A (Q1 ~ Q5) 各学年掲示板上に掲載	12	6/9
35	NHK 沖縄放送局 渡辺常唱	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 慰霊の日特別番組 2014 年 6 月 23 日放映	1	6/9
36	沖縄テレビ 宮里浩作	平和祈念資料館内撮影 OTV スーパーニュース 2014 年 6 月 10 日放映	1	6/9
37	琉球放送 上原萌奈	大城藤六氏の講話の様子(6月12日) RBC ザ・ニュース 2014 年 6 月 16 日放映	1	6/11
38	毎日新聞大阪本社 鈴木英生	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 毎日新聞大阪本社版文化面 2014 年 7 月 25 日朝刊掲載	1	6/11
39	沖縄市教育委員会指導部指導課 キャリア教育コーディネーター 仲嶺恵子	沖縄戦米軍記録写真 0081, 0126, 0127, 0132, 0152, 0299 沖縄戦の絵 W-14, W-34 W-36, W-41, W-42 沖縄市立高原小学校「平和講話」6月20日で使用	11	6/13
40	宮古島市立図書館長 砂川隆	H25 児童・生徒の平和メッセージ 図画部門 高等学校の部 最優秀賞「願い」 平和資料展告知ポスターへの掲載	1	6/13
41	那珂市企画部秘書広聴課 課長 石川透	沖縄戦米軍記録写真 0132, 0164, 0197, 0303 「沖縄戦写真パネル展」広報用チラシ・ポスター掲載	1	6/16
42	NPO 日本台湾平和基金会 共同发起人 錦古里正一	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 民視 TV (台湾) 番組「異言堂」で放映 2014 年 7 月	1	6/17
43	琉球新報社編集局社会部 記者 玉城江梨子	防諜ポスター 琉球新報 平成 26 年 6 月 23 日掲載	1	6/18
44	杜の祈りコンサート実行委員会 代表 佐久川広海	H26 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「空はつながっている」 沖縄慰霊の日 鎮魂コンサート〜杜の祈り〜で紹介	1	6/18
45	しんぶん「赤旗」特報チーム 記者 阿部活士	沖縄県平和祈念資料館展示「むすびの言葉」 しんぶん赤旗 平成 26 年 6 月 20 日掲載	1	6/18
46	TBS テレビ 永井龍之介	方言札 TBS 「ニュース 23」平成 26 年 6 月 23 日放映	1	6/19
47	TOM LIGHT FILM 山崎エレナ	平和祈念資料館内撮影 ドキュメンタリー番組 クロアチア国内放送予定 番組名未定	1	6/20
48	(株) ラジオ福島 菅野左千男	H26 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「空はつながっている」ラジオ福島「かっとうワイド」(6月27日)放送	1	6/27
49	毎日新聞 木村葉子	H25 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「へいってすてきだね」毎日小学生新聞 7月3日掲載	1	6/27
50	毎日小学生新聞 編集長 三野雅弘	H26 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「空はつながっている」毎日小学生新聞 三面「ニュース交差点」6月27日	1	6/27
51	沖縄タイムス社 編集長 武富和彦	沖縄戦米軍記録写真 0085 沖縄タイムス平成 26 年 7 月 1 日掲載	1	6/28
52	内牧フォークロア 高橋昌子	H25 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「へいってすてきだね」春日都市平和月間「平和のパネル展示」にて展示	1	6/28
53	岡村俊夫	92 式重機関銃(第 2 展示室) 第 32 軍主力兵器調査の為	1	6/30
54	琉球新報社 政治部 記者 稲福政俊	沖縄戦米軍記録写真 0084, 0253 琉球新報 平成 26 年 7 月 12 日・13 日連載「未来に伝える沖縄戦」掲載	2	7/3
55	大分合同新聞社 国東支局長 中谷悠人	沖縄戦米軍記録写真 0230, 0240, 0241 大分合同新聞 夕刊シニア面 2014 年 7 月 15 日掲載	3	7/7
56	人権啓発員 綾部章子	H26 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「空はつながっている」 同和問題講演会資料として参加者へ配布	1	7/11
57	株式会社アライブ ディレクター 藤田直樹	野外展示「戦世の傷跡」 テレビ東京 日経スペシャル「カンブリア宮殿」11月～12月放映予定	1	7/11
58	演劇集団ふらっと 三輪京子	H26 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「空はつながっている」朗読発表「声でつなぐ祈り ふらっとが読んだ被災体験記」	1	7/14
59	那覇市歴史博物館 館長 古塚達朗	沖縄戦米軍記録写真 0054 旧跡標示板「慶良間チージ」, 那覇市歴史博物館ホームページへ掲載	1	7/16
59	大分合同新聞社 国東支局長 中谷悠人	沖縄戦米軍記録写真 0230, 0240 ウェブサイト「Gate」、大分合同新聞 夕刊 2014 年 7 月 22 日掲載	2	7/21
60	公益財団法人対馬丸記念会 会長 高良政勝	学童疎開関係書類「疎開児童体重状況」 対馬丸記念館ホームページへ掲載 2014 年 9 月 1 日～	1	7/22
61	大阪経済法科大学アジア太平洋 センター客員研究員 佐治暁人	沖縄県遺族連合会資料 アジア太平洋研究センター年報へ掲載	30	7/23
62	平和のための資料展実行委員会 実行委員長 衣山武秀	H19 児童・生徒の平和メッセージ 図画部門 小学校の部 最優秀賞「平和への願い」 「平和のための資料展」お知らせニュース 及び 開催ポスターへの掲載	1	7/25
63	株式会社 BS-TBS 吉田啓良	摩文仁の風景(資料館展望台より撮影) 「関口宏の人生の詩」BS-TBS 2014 年 9 月 13 日放映	1	7/28
64	発寒ひかり保育園 園長 吉田行男	H26 児童生徒の平和メッセージ 詩部門 小学生低学年の部 最優秀賞 「空はつながっている」園だよりにて掲載 2014. 8. 1	1	7/29
65	新日本婦人の会常陸大宮支部 切石トシコ	H26 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「空はつながっている」平和写真展「沖縄戦 戦場の人々」に掲示	1	7/29
66	5. 18 記録館推進企画園長 洪世賢	沖縄戦証言 金城幸栄氏 証言 韓国光州 5・18 記録館世界人権記録館展示室にて展示	1	7/30

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
67	沖縄国際大学沖縄法政研究所 所長 照屋寛之	沖縄戦米軍記録写真 0019, 0032, 0041, 0140, 0234, 0551, 0560, 0562, 0758 連続企画 写真・パネル展に展示 2014年8月13日沖縄国際大学13号館	9	7/31
68	コーラス3びきのくま 伊東多嘉子	H25 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「へいわたってすてきだね」 コンサート3箇所て発表、コンサートの様子をHPに掲載	1	8/1
69	特定非営利活動法人東京都地域 婦人団体連盟 担当 福田知子	H26 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「空はつながっている」 「婦人時報」2014年8月15日号掲載	1	8/4
70	朝日新聞社大阪支社編集部 記者 猪野元健	沖縄戦米軍記録写真 0085 「朝日中学生ウィークリー」2014年8月10日号掲載	1	8/7
71	琉球新報社編集局政治部 記者 古堅一樹	沖縄戦米軍記録写真 0055, 0077, 0200, 0226, 0296, 030 琉球新報 2014年8月9日～10日掲載	6	8/7
72	(株) NEXTEP 石川よしき	沖縄戦米軍記録写真 0131 BS フジプライムニュース 2014年8月15日放映	1	8/14
73	石川県教職員組合 国吉正人	H26 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「空はつながっている」 石川県教育研究集要網へ掲載	1	8/27
74	関西大学 普久原実咲	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 ドキュメンタリー映像として関西大学内で試写会 2014年8月28日	1	8/28
75	沖縄平和賞委員会 与儀清祐	沖縄戦米軍記録写真 0001, 0002, 0019, 0031, 0072, 0077, 0085, 0090 沖縄平和賞紹介プレゼンテーションに使用 2014年9月17日	8	9/2
76	愛知県立瀬戸北総合高等学校 学校長 若林和人	H26 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「空はつながっている」 英訳し学校HPに掲載	1	9/8
77	沖縄県知事公室広報交流課 課長 金城敦	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 県政広報テレビ「うまんちゅひろば」2015年1月17日放映	1	9/11
78	琉球新報社編集局政治部 部長 与那嶺明彦	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 (ハルペリン氏資料館視察) 琉球新報 2014年9月17日掲載	1	9/16
79	Jambo Tours 照屋久美子	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 Jet Star機内誌へ掲載	1	9/19
80	総合研究大学院大学 秋山かおり	沖縄戦の絵「ハワイで再開」奥多良寛春 「太平洋戦争におけるハワイ収容所」研究論文執筆の為	1	9/22
81	東葛合唱団はるかぜ 団長 太田幸子	H25・26 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「へいわたってすてきだね」「空はつながっている」作曲許可及びコンサート	2	9/22
82	株式会社コミチャン 代表取締役 島袋直子	沖縄戦米軍記録写真 0282 漫画『上村病院物語』2014年11月1日掲載	1	9/25
83	馬淵和香	沖縄県平和祈念資料館外観 朝日新聞デジタル「沖縄建築パラダイス」掲載 2014年10月24日	1	9/29
84	北谷町下勢頭郷友会 会長 佐久川政徳	沖縄戦米軍記録写真 0371 郷友会事業「第2回ふるさとを語る会」会場でパネル展示	1	10/1
85	沖縄タイムス編集局社会部 記者 新垣綾子	沖縄戦の絵 10・10空襲の絵「10・10空襲で燃える那覇」「空襲を受ける沖縄愛楽園」「10・10空襲 戦火の集落と防空壕」「10・10空襲グラマン機に攻撃される那覇港」沖縄タイムス 掲載	4	10/2
86	株式会社ジャンボツアーズ 代表取締役 谷村勝己	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 AIR CANADA enRoute マガジン掲載	1	10/4
87	伊藤辰雄	H25 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「へいわたってすてきだね」作曲及び合唱曲演奏 2014年10月26日西萩南区民集会所	1	10/6
88	那覇市立真地小学校 校長 知念智行	H25 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校高学年の部 最優秀賞 「ガジュマルのひとりごと」音楽発表会(6年)演目として2014年11月9日	1	10/15
89	NHK 沖縄放送局 記者 國仲真一郎	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 (イラク戦争に参加した兵士視察) NHK ニュース 2014年10月27日放映	1	10/24
90	帝京平成大学 高橋舞	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影、資料館から見える遠景 学会発表、論文掲載	2	10/29
91	うらおそい歴史ガイド友の会 理事長 粟森弘政	沖縄戦米軍記録写真 0094, 0183, 0233 戦跡マップ『「戦跡」から見える浦添での戦争』掲載 2014年12月	3	11/1
92	ロバーツ 平良 浩子	H26 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「空はつながっている」嘉悦ケンブリッジ教育文化センタージャパンデーで紹介 3/7	1	11/12
93	CHANNEL A 許振碩	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 韓国メディアチャンネルAにて放映 2014年12月放映	1	11/12
94	古次克匡	沖縄戦米軍記録写真 0140, 0206 第64次全国教育研究集會リポート集 2014年12月13日掲載	2	11/18
95	多摩市文庫連絡協議会 会長 寄神光代	H26 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「空はつながっている」第27回文化展 一子どもと本の広場にて壁面展示 2/21～25	1	11/20
96	大分県教職員組合青年部 代表 大島憲征	『体験者が語る戦争』(2点)『沖縄県平和祈念資料館 総合案内』(5点) 大分県教職員組合 青年部 2015年度 平和カレンダー資料編へ掲載	7	11/20
97	株式会社 汐文社 代表取締役 政門一芳	沖縄戦米軍記録写真 0307 『シリーズ戦争孤児③ 沖縄の戦場孤児』2014年2月掲載	1	11/20
98	沖縄タイムス編集局社会部 記者 新垣綾子	方言札 防護ポスター 検閲された手紙 敵性語めぐり式カード 大阪 毎日新聞 写真週報 アサヒグラフ 沖縄タイムス 12月上旬掲載	7	11/21
99	読谷村役場 村長 石嶺傳實	紙芝居「少国民進軍歌」写真(3点)図表「戦前戦後の主な学校制度」 読谷村「平和創造展」において展示 2015年1月19日～30日村民ホール	5	11/27
100	株式会社NHK プラネット九州支社 支店長 繁竹治頭	沖縄戦米軍記録写真 0303 第13回NHK 朗読と音楽の夕べ 「戦後70年～私たちの戦争・平和の祈り～」2015年1月放映	1	11/27

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
101	カズ企画 青木滋一	沖縄戦米軍記録写真 0758 転載許可 ポプラ社『クローズアップ日本の歴史 第8巻 学童疎開』2015年4月掲載	1	11/29
102	株式会社東洋企画印刷 代表取締役 大城孝	転載許可 「米軍の上陸と進攻」「火炎放射器で攻撃する米兵」「米軍に保護される母と子」「カンカラ三線」 『ジュニア版 琉球・沖縄史』へ掲載	4	11/29
103	佐藤花	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 自由研究へ掲載	1	12/4
104	藤本洋	H22 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 高等学校の部 最優秀賞 「変えていく」 作曲及び合唱 2015年春以降に発表	1	12/7
105	琉球新報社 記者 佐野真慈	昭和20年8月1日発令「徴用令書」 琉球新報 2014年12月・13日・14日掲載	1	12/9
106	琉球新報社 代表取締役 富田詢一	日系二世関係写真画像 (24点) 琉球新報 2015年1月1日～6月末 掲載	24	12/10
107	河村典子	H26 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「空はつながっている」 作曲 及び 2015年秋以降コンサートで演奏	1	12/11
108	山陰ケーブルテレビジョン株式会社 代表取締役 進藤正英	沖縄戦米軍記録写真 0253 ヒストリーチャンネル『戦争の記憶ー零戦にか けた青春の日々』 2015年2月～8月(6回) 放映	1	12/11
109	株式会社クオーレ メディア事業部 井田賢	沖縄戦米軍記録写真 0058, 0360 帝国書院 2015年3月1日 『イラストと地図からみつける!日本の産業・自然 第5巻』掲載	2	12/14
110	北海道新聞社 井上雄一	沖縄戦米軍記録写真 0104, 0145, 0219 北海道新聞 2015年1月4日掲載	3	12/17
111	株式会社クオーレ メディア事業部 井田賢	沖縄戦米軍記録写真 0758 帝国書院 2015年3月1日 『イラストと地図からみつける!日本の産業・自然 第5巻』掲載	1	12/30
112	KBS 韓国放送公社 李永雄	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 KBS 特派員現場報告 2015年1月24日放送	1	1/7
113	編集事務所ヴァリエ 池宮康子	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 るるぶ情報版『るるぶ もっと沖縄を旅する』図書版・電子書籍版(2月下旬発行予定)	1	1/7
114	浦添市立図書館 仲西正勝	「ユニホーム姿の男性3人と半袖姿の男性4人(写真)」「4人の牧港相撲部員(写真)」 『沖縄新聞 1946年8月2日』 『浦添市移民史本編』掲載 2015年3月17日刊行	3	1/8
115	一般財団法人対馬丸記念会 代表理事 高良政勝	加納嘉範手帳 対馬丸事件での犠牲者及び大島での当時の状況等調査のため	1	1/10
116	エスペラント協会	H26 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「空はつながっている」 月刊誌『エスペラント/La Revuo Orienta』2015年2月号掲載	1	1/10
117	編集事務所ヴァリエ 池宮康子	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 るるぶ情報版『るるぶ もっと沖縄を旅する』図書版・電子書籍版(2月下旬発行予定)	1	1/7
118	TOKYO PRODUCTION 製作会社 カンタン・ディベルギアン	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 『隠された跡・1945年:終戦を迎え る日本』『RMC decouverte』放送局(放送期間:2015年8月～9月予定)	1	1/22
				500

外国関係の取材・撮影等一覧

1	NPO 日本台湾平和基金会 共同発起人 錦古里正一	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 民視TV(台湾)番組「異言堂」で放映 2014年7月	1	6/17
2	TOM LIGHT FILM 山崎エレナ	平和祈念資料館内撮影 ドキュメンタリー番組 クロアチア国内放送予定 番組名未定	1	6/20
3	5.18記録館推進企画園長 洪世賢	沖縄戦証言 金城幸栄氏 証言 韓国光州5・18記録館世界人権記録館展示室にて展示	1	7/30
4	株式会社ジャンボツアーズ 代表取締役 谷村勝己	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 AIR CANADA enRoute マガジン掲載	1	10/4
5	ロバーツ 平良 浩子	H26 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「空はつながっている」 嘉悦ケンブリッジ教育文化センタージャパンデーで紹介 3/7	1	11/12
6	CHANNEL A 許振碩	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 韓国メディアチャンネルAにて放映 2014年12月放映	1	11/12
7	KBS 韓国放送公社 李永雄	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 KBS 特派員現場報告 2015年1月24日放送	1	1/7
8	エスペラント協会	H26 児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「空はつながっている」 月刊誌『エスペラント/La Revuo Orienta』2015年2月号掲載	1	1/10
9	TOKYO PRODUCTION 製作会社 カンタン・ディベルギアン	県平和祈念資料館常設展示室内風景撮影 『隠された跡・1945年:終戦を迎え る日本』『RMC decouverte』放送局(放送期間:2015年8月～9月予定)	1	1/22

V 教育普及事業

1 教育普及行事

(1) 第24回「児童・生徒の平和メッセージ展」

本県は、去る大戦において、一般住民を巻き込んだ地上戦の場となり、20万余の貴い生命とかけがえのない文化遺産を失った。戦後、69年を経過した現在、この歴史的な事実を風化させることなく次の世代に正しく継承させていくために児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩の創作活動を通して、児童・生徒が戦争と平和について考え、平和を尊ぶ心を育てる機会とする。また、応募作品の中から優秀な作品を選定し、展示、広報することを通して、県民をはじめ広く国内外の人々の心に沖縄発の児童・生徒の平和メッセージを発信する機会とする。

糸満市 (沖縄県平和祈念資料館)	那覇市 (県庁1階県民ホール)
6/23 (月) ~ 7/9 (水)	8/18 (月) ~ 8/22 (金)
石垣市 (八重山平和祈念館)	宮古島市 (宮古島市総合博物館)
7/16 (水) ~ 7/27 (日)	8/29 (金) ~ 9/12 (金)
名護市 (イオン名護ショッピングセンター)	ハワイ州ホノルル市 (ハワイ沖縄センター)
8/2 (土) ~ 8/10 (日)	1/21 (水) ~ 1/25 (日)

① 応募総数 (3,943点) 図画1,787点 作文568点 詩 1,588点

② 平成26年度沖縄全戦没者追悼式「平和の詩」朗読者

石垣市立真喜良小学校3年 ^{ますだ たける} 増田 健琉くん 「空はつながっている」

③ 県内5会場、海外1会場にて展示会の実施

- ・沖縄県平和祈念資料館 2階海と礎の回廊 期間： 6月23日 ~ 7月 9日
- ・八重山平和祈念館 第2展示室 期間： 7月16日 ~ 7月27日
- ・イオン名護ショッピングセンター 期間： 8月 2日 ~ 8月10日
- ・沖縄県庁 1階県民ホール 期間： 8月18日 ~ 8月22日
- ・宮古島市総合博物館 期間： 8月29日 ~ 9月12日
- ・ハワイ沖縄センター (ハワイ州ホノルル市) 期間： 1月21日 ~ 1月25日

④ 表彰式

[日時] 8月18日 午前11時 ~ 正午 沖縄県庁 1階県民ホール

⑤ 入賞作品数 (215点)

【特別支援学級・学校】 10点

図画：最優秀1点 優秀1点 優良1点 佳作 1点

作文：最優秀1点 優秀2点

詩：最優秀1点 優秀1点 優良1点

【小学校低学年】 24点

図画：最優秀1点 優秀1点 優良2点 佳作9点

作文：最優秀1点 優秀1点 優良1点 佳作3点

詩：最優秀1点 優秀1点 優良1点 佳作2点

【小学校高学年】 56点

図画：最優秀1点 優秀2点 優良8点 佳作19点

作文： 優秀2点 優良2点 佳作1点

詩：最優秀1点 優秀2点 優良5点 佳作13点

【中学校】 75点

図画：最優秀1点 優秀2点 優良9点 佳作15点

作文：最優秀1点 優秀2点 優良8点 佳作7点

詩：最優秀1点 優秀2点 優良7点 佳作20点

【高等学校】 50点

図画：最優秀1点 優秀2点 優良7点 佳作5点

作文：最優秀1点 優秀2点 優良5点 佳作5点

詩：最優秀1点 優秀2点 優良8点 佳作11点



平和祈念資料館でのオープニング



八重山会場での作文朗読者・畠中愛佳さん



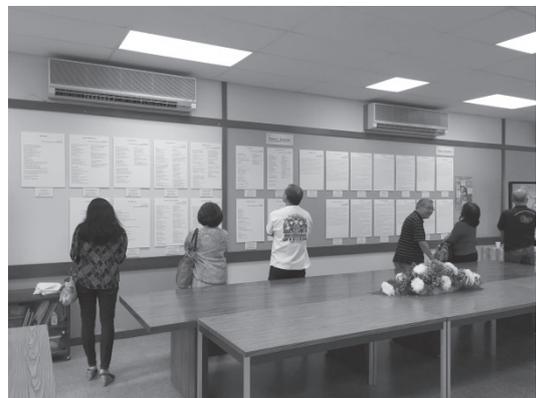
イオン名護店会場の様子



県庁ホール表彰式 諸見里教育長、川上副知事と
受賞した児童・生徒の記念撮影



宮古島市総合博物館会場の様子



ハワイ沖縄センターでの観覧の様子

(2)親子ビデオ上映会

①「子どもの日」ビデオ上映会

児童福祉週間関連事業の一環として、児童生徒の観覧料無料に合わせて沖縄戦関連のビデオ上映を行い、親子で平和について考える機会とする。

【日時】平成26年5月5日(月)午後1時30分～午後4時
【上映ビデオ】

- 「100番目のサル」(20分)
- 「石の声 ～沖縄戦マラリア地獄の記憶～」(24分)
- 「煙突屋 ペロー」(23分)
- 「ちいちゃんのかげおくり」(17分)
- 「沖縄戦の証言」(35分)
- 「やーさん ひーさん しからーさん」【ダイジェスト版】(19分)

【参加者数】延べ71名



②慰霊の日 沖縄戦関連ビデオ上映会

「慰霊の日」関連事業の一環として、観覧無料に合わせて沖縄戦・人権関係のビデオ上映を行い、平和や人権について考えると同時に、資料館への理解を深めてもらう機会とする。本年度は上映実行委員会主催で「17才の別れ」を上映した。

【日時】平成26年6月23日(月)午後2時～午後4時30分

【上映】「17才の別れ」

【参加者数】延べ400人

③夏休みアニメ上映会(平和祈念ホール)

アニメ作品等の鑑賞を通して、平和と人権について考える。

【日時及び上映作品】

8月9日(土)午後2時～午後4時

- 「対馬丸」(75分)
- 「やーさん ひーさん しからーさん
ダイジェスト版」(19分)

8月10日(日) 午後2時～午後4時

- 「煙突屋ペロー」(23分)
- 「カンカラ三線」(78分)

【参加者数】二日間 延べ60名



(3)夏休み子ども向け企画

①夏休み自由研究相談室(情報ライブラリー)

【期間】平成26年8月2日(土)、9日(土)、16日(土)午前10時～午後5時

【内容】自由研究の進め方や疑問点などについて、助言・説明する。

【相談者数】31名

②子ども自由研究教室(情報ライブラリー)

【日時】平成26年8月17日(日)午後1時～4時

【内容】沖縄戦について学習し、自由研究ノートづくりを行う。

【参加者数】18名

2 教育機関との連携

(1) 平和講話

設立理念にもある沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、もって恒久平和の樹立に寄与するというを具体化したものに県内の小中高校、特別支援学校に対する平和学習支援があります。

平和学習等で常設展示を見学に来る児童生徒に対して観覧前に学芸員が行うオリエンテーショナルな平和講話を実施しています。時間は50分程度で、内容は沖縄戦に至るまでの歴史的な流れや沖縄戦の経緯、常設展示の見所、平和のために何ができるか等を考えさせるものとなっています。

[平成26年度 平和講話実施状況] 総計122校(134回) [11,683名]

- ・小学校89校(7,487名) ・中学校18校(3,022名)
- ・高等学校8校(992名) ・特別支援学校1校(40名) 保育1団体(20名)
- ・教育委員会他5団体(122名)



祈念ホールでの平和講話の様子

(2) 児童・生徒の職場体験(インターンシップ)

児童生徒の望ましい職業観・勤労観を育むため、当資料館では学校からの要望に応じて、毎年、職場体験及びインターンシップの児童生徒を受け入れています。平成26年度は、県立高校3校から5名、インターンシップ生を受け入れました。

インターンシップ生を受け入れる事により、当館職員もサービスの向上に向けて再認識し資料館の活性化にもつながりました。

インターンシップを体験した生徒の皆さんそれぞれが、自分の個性を発揮し、将来地域のために活躍できる人物になることを期待しています。

[学校名・人数・期間]

- ① 沖縄県立沖縄水産高等学校(2名) 10月22日(水)～24日(金)
- ② 沖縄県立豊見城南高等学校(2名) 11月12日(水)～14日(金)
- ③ 沖縄県立糸満高等学校(1名) 11月12日(水)～14日(金)



事務処理体験をする沖縄水産高校生



キャプション作成体験をする豊見城南高校と糸満高校の生徒

3 講座・講習会・研修会

(1) 沖縄県平和祈念資料館講習会

当館への案内業務に携わっている旅行・観光等の関係機関に携わる方々に、本館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容等について理解・認識を深めてもらい、本館の利活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に講習会を実施しました。

〈日 時〉平成 26 年 7 月 9 日（水）13:00～16:00

〈場 所〉沖縄県平和祈念資料館 大会議室

〈対 象〉タクシー乗務員・バスガイド・ボランティア・観光等関係者

〈講習内容〉平和祈念公園及び資料館施設説明・展示内容・沖縄戦の特徴

〈受講者〉37 名



(2) 高校、特別支援、養護、幼稚園教諭初任者研修における講義

高等学校、特別支援学校、幼稚園において本年度新採用された教諭及び養護教諭として本年度採用された教諭を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修において講話を行った。内容は沖縄戦の概要、県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、施設・設備及び展示内容が主。講義内容について理解・認識を深めてもらい平和教育に役立ててもらうことがねらい。



[日時]平成 26 年 8 月 13 日（水）午前 9 時～午後 4 時半

[場所]沖縄県平和祈念資料館 1 階祈念ホール

[受講者] 166 名

[講義] ①学校における平和学習・教育に望むもの

②沖縄戦と戦後復興

(3) 島尻地区小中学校教職員 10 年経験者研修会における講義

教諭、助教諭及び講師としての在職期間が 10 年に達した者に対して、個々の能力、適性等に応じて研修を実施し、教諭等としての資質の向上を図ることを目的とした「10 年経験

者研修」がある。今回、島尻地区の10年目を迎える先生方が当館で研修を行った。参観だけでなく、当館の利用の仕方について講話を行った。

[日時] 平成26年8月1日(金) 午前10時40～
午後12時00分

[参加人数] 島尻管内市町村指導主事含め60名

(4) 糸満市小中学校教職員初任者研修会における講義

糸満市内小中学校教職員初任者の幅広い知見と資質の向上を図るとともに、地域に根ざした学校教育の推進に努め、教師としての実践的指導力と使命感を養うために当館で研修を行った。

[日時] 平成26年8月20日(水) 午前13時30～午後15時00分

[参加人数] 糸満市市指導主事含め17名

(5) 沖縄県新規職員採用後期研修における講義

沖縄県の新規採用職員を対象に県職員としての教養や資質の向上のための、沖縄県自治研究所が主催する研修会。県直営の当資料館の存在意義を広く周知するために新採用職員を対象に沖縄戦の概要や資料館の働き等について理解してもらう講義を提供した。

[日時] 平成26年10月7日(火)・21日(火) 14時40分～16時00分

[場所] 沖縄県自治研修所

[受講者] 106名

VI 広報活動・出版等

1 2014JICA おきなわ国際協力・交流フェスティバル

「沖縄県平和祈念資料館事業展」の紹介

平和祈念資料館は、「世界の人々に平和を希求する私たちの心を訴え、世界の恒久平和の樹立に寄与する」という設立理念のもと様々な事業を展開している。JICA沖縄国際センターにおいて沖縄県平和祈念資料館から発信される事業の成果を発表した。

[日時] 平成26年11月 8日(土)～9日(日) 午前10:00～午後6:00

[場所] JICA沖縄国際センター本館2階(205室)

[入場者数] 6,992人(フェスティバル全体の数) ※過去最高

[内容] 今年度は、平和祈念資料館の事業概要を中心に展示を行った。とくに一昨年度からの継続事業であり好評の「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」の成果報告展の一部を、パネル・冊子・映像で紹介した。これは戦争体験者が、その記憶を家族に語り継ぐ様子を撮影した映像(合計350件)からのものである。



展示会場の様子

2 OCVB沖縄修学旅行フェア2014

「沖縄県平和祈念資料館事業展」

県外の学校関係者や旅行者等を対象に沖縄修学旅行の魅力(学習効果)を紹介することで沖縄県内への修学旅行誘致を目的とする沖縄コンベンションビューロー主催の事業を通して、当資料館の事業内容を紹介し当館への来館を促すことがねらい。

[日時] 平成26年 8月 5日(火)
午前10:00～午後4:30



[場所] 沖縄コンベンションセンター 会議棟A1

[内容] 開館日時、観覧料、音声ガイド機貸出(無料)、当館へのアクセス等をはじめ、各展示室の内容、資料借用方法、平和講話等講師及び会場の手配方法等についてパネルや冊子で紹介した。また、実物資料等貸出資料の展示や戦争体験証言映像の放映を行った。

3 刊行物

○『沖縄県平和祈念資料館年報 第14号』

平成25年度の当館事業の実績報告に係わる行政資料。入館者の概要事業内容や活動内容等をまとめる。A4版89頁、500部を7月に刊行。

○「沖縄県平和祈念資料館だより」 平成26年度の資料館事業報告や事業計画等について周知させる広報誌。今年度は27号を8月に、28号を3月にA4版8頁、各2,500部発行。

○『南洋の群星が見た理想郷と戦』～70年の時を超えて旧南洋群島ウチナーンチュの汗と血そして涙～。第15回特別企画展図録A4版76頁、1,100部を10月に刊行。

○『第24回児童・生徒の平和メッセージ展実施報告書』

第24回の児童・生徒の平和メッセージ展に係わる実績報告書。展示会の模様、募集要項、図画・作文・詩の最優秀・優秀作品入選作品等が掲載される。

A4版104頁、1,000部を3月に刊行。

VII その他の事業

1 「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業

[期間] 平成24年度～平成26年度

[内容]

「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業は、平成24年度から26年度までの草の根技術協力事業として、2012年1月12日に採択された。本事業は、自文化への誇りを醸成するとともに歴史的教訓を次代に継承し、平和文化の創造、推進、発信がなされる博物館づくりを大きな目標とし、沖縄県が有する博物館活動のスキルをカンボジア側と共有することを目的としている。

最終の本年度は9月29日～10月28日まで1ヵ月間、カンボジア国立博物館及びトゥールスレン虐殺博物館のスタッフ各2名の合計4名が研修員として来沖した。また、10月23日から28日まで、カンボジア文化芸術省遺産局博物館部長（国立博物館館長）及びトゥールスレン虐殺博物館館長も視察に訪れた。研修員は、県立博物館を中心に沖縄県平和祈念資料館や九州国立博物館などで、およそ40コマの研修や実習、出前授業を行った。研修員は自身の課題（アクションプラン）を持ち、その解決やヒントを得るために真摯に研修に取り組んだ。

○現地研修（国立博物館・TSGM 職員が沖縄で研修）

[期間] 平成26年9月29日（月）～10月28日（火）

[研修者] ★National Museum of Cambodia(カンボジア国立博物館)

○Ms. Chap Sopheara (ソフィアラ/修理修復室長)

○Mr. Kim Sanpiseth(サンピセ/総務企画課員)

★Tuol Sleng Genocide Museum(国立トゥールスレン虐殺博物館)

○Mr. Hang Nisay (ニサイ/展示ガイド課員)

○Ms. Hor Chan Leaksmy (リャクスミー/展示ガイド課員)

○写真企画展「カンボジアの光と影Ⅲ」巡回展

[目的] 研修員自らが写真データを持参し、展示構成、パネル製作を行う。企画展の企画・準備・開催までの一連の流れを実際に経験することでスキル向上を目指す。10月28日より、沖縄県立博物館・美術館で開催。多くの県民へカンボジアの歴史と文化の理解を促すため、当館においても巡回展として開催した。

[場所] 沖縄県平和祈念資料館企画展示室

[期間] 平成26年12月18日（木）～1月12日（月）

[展示内容]

- ・B2版写真パネル約60枚で構成
- ・カンボジア国立博物館が所蔵する6～8世紀の前アンコール王朝の石彫物の写真
- ・国立トゥールスレン博物館が所蔵する写真、文書、絵などの写真
- ・民族舞踊アプサラダンスの冠及び演奏用楽器の展示（ハンズオン）
- ・2014年研修内容についても紹介

○専門家派遣（カンボジアへの当館職員の派遣）

[期間] ①平成26年6月25日（水）～7月5日（土）古謝

②平成27年2月23日（月）～3月9日（月）古謝

③平成27年3月4日（水）～3月9日（月）國仲館長

[担当者] 古謝将史 学芸主査（沖縄県平和祈念資料館）

VII 入館者状況

1 月別入館者数

年月	個人入館者数 ※1			団体入館者数 ※1			入館者総数 ※1			開館日数	一日平均入館者数 ※1	入館者総数 ※2
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計			
2014年4月	6,328 (273)	791 (42)	7,119 (315)	2,563 (330)	16,963 (3,265)	19,526 (3,595)	8,891 (603)	17,754 (3,307)	26,645 (3,910)	30	888	37,266
2014年5月	6,068 (208)	503 (57)	6,571 (265)	3,719 (426)	31,365 (5,930)	35,084 (6,356)	9,787 (634)	31,868 (5,987)	41,655 (6,621)	31	1,344	51,252
2014年6月	7,339 (2,026)	2,503 (1,791)	9,842 (3,817)	4,345 (502)	22,504 (4,435)	26,849 (4,937)	11,684 (2,528)	25,007 (6,226)	36,691 (8,754)	30	1,223	52,301
2014年7月	5,563 (197)	1,141 (53)	6,704 (250)	989 (126)	5,246 (2,386)	6,235 (2,512)	6,552 (323)	6,387 (2,439)	12,939 (2,762)	27	479	22,284
2014年8月	8,939 (437)	3,024 (39)	11,963 (476)	921 (62)	1,457 (196)	2,378 (258)	9,860 (499)	4,481 (235)	14,341 (734)	31	463	24,960
2014年9月	6,129 (184)	625 (20)	6,754 (204)	1,260 (54)	9,354 (351)	10,614 (405)	7,389 (238)	9,979 (371)	17,368 (609)	30	579	23,970
2014年10月	4,915 (242)	436 (131)	5,351 (373)	3,826 (128)	45,642 (1,000)	49,468 (1,128)	8,741 (370)	46,078 (1,131)	54,819 (1,501)	29	1,890	56,920
2014年11月	5,897 (240)	485 (123)	6,382 (363)	3,955 (212)	43,558 (1,441)	47,513 (1,653)	9,852 (452)	44,043 (1,564)	53,895 (2,016)	30	1,797	59,792
2014年12月	4,879 (369)	577 (37)	5,456 (406)	2,452 (133)	33,594 (995)	36,046 (1,128)	7,331 (502)	34,171 (1,032)	41,502 (1,534)	28	1,482	46,325
2015年1月	5,478 (256)	492 (19)	5,970 (275)	1,668 (147)	12,826 (654)	14,494 (801)	7,146 (403)	13,318 (673)	20,464 (1,076)	28	731	28,032
2015年2月	6,413 (217)	327 (3)	6,740 (220)	1,913 (131)	11,857 (110)	13,770 (241)	8,326 (348)	12,184 (113)	20,510 (461)	28	733	28,364
2015年3月	7,546 (316)	1,693 (6)	9,239 (322)	1,659 (19)	10,365 (51)	12,024 (70)	9,205 (335)	12,058 (57)	21,263 (392)	31	686	33,520
合計	75,494 (4,965)	12,597 (2,321)	88,091 (7,286)	29,270 (2,270)	244,731 (20,814)	274,001 (23,084)	104,764 (7,235)	257,328 (23,135)	362,092 (30,370)	353	1,026	464,986

() は内数で無料入場者数

※1 は平和記念資料館2階常設展示室に入室した人数

※2 は平和記念資料館出入口に設置している機器で把握した人数

2 年度別入館者数

年度別	有料観覧													開館 日数	平均	
	観覧券種別						出身別						計			
	大人個人 (%)			小人個人 (%)			県内			県外						外国
	大人個人 (%)	大人団体 (%)	小人個人 (%)	小人団体 (%)	小人個人 (%)	小人団体 (%)	県内	県外	外国							
2000年度	161,361 (38)	71,140 (17)	24,658 (6)	163,644 (39)	111,401	305,812	3,590	420,803	60,215	481,018	310	1,552				
2001年度	111,197 (37)	62,902 (21)	18,195 (6)	107,802 (36)	43,820	251,983	4,293	300,096	36,149	336,245	313	1,074				
2002年度	97,221 (29)	40,624 (12)	17,362 (5)	184,047 (54)	27,955	307,328	3,971	339,254	39,539	378,793	314	1,206				
2003年度	101,015 (27)	37,618 (10)	17,236 (5)	214,535 (58)	29,643	337,730	3,031	370,404	36,748	407,152	317	1,284				
2004年度	91,980 (26)	33,004 (9)	16,329 (5)	215,603 (60)	31,597	321,305	4,014	356,916	37,195	394,111	312	1,263				
2005年度	96,355 (25)	35,303 (9)	18,972 (5)	230,791 (61)	41,577	336,415	3,429	381,421	34,741	416,162	314	1,325				
2006年度	107,813 (26)	33,767 (8)	21,342 (5)	253,821 (61)	14,330	398,291	4,122	416,743	32,987	449,730	359	1,253				
2007年度	107,767 (26)	35,679 (9)	20,563 (5)	245,093 (60)	13,504	390,661	4,937	409,102	30,394	439,496	358	1,228				
2008年度	96,789 (24)	32,933 (8)	18,998 (5)	252,573 (63)	8,985	388,269	4,039	401,293	31,870	433,163	359	1,207				
2009年度	86,412 (23)	34,241 (9)	16,252 (4)	237,756 (64)	9,634	358,583	6,444	374,661	32,712	407,373	359	1,135				
2010年度	81,124 (22)	31,767 (9)	15,092 (4)	234,255 (65)	9,906	345,521	6,811	362,238	33,992	396,230	355	1,116				
2011年度	69,648 (19)	28,662 (8)	11,586 (3)	249,400 (70)	9,199	344,282	5,815	359,296	32,336	391,632	355	1,103				
2012年度	70,341 (21)	29,600 (9)	10,469 (3)	227,827 (67)	8,869	322,946	6,422	338,237	29,318	367,555	352	1,044				
2013年度	74,165 (22)	26,641 (8)	11,004 (3)	232,295 (68)	7,947	328,333	7,825	344,105	31,306	375,411	359	1,046				
2014年度	70,529 (21)	27,000 (8)	10,276 (3)	223,917 (68)	7,486	314,598	9,638	331,722	30,370	362,092	353	1,026				
累計	5,506,291											5,089	1,186			

参考
慰霊の日無料入館者数

年度	入館者数	年度	入館者数
2000年度	4,966	2008年度	4,257
2001年度	3,157	2009年度	4,649
2002年度	4,750	2010年度	5,479
2003年度	4,259	2011年度	3,665
2004年度	4,849	2012年度	3,240
2005年度	3,815	2013年度	3,797
2006年度	2,813	2014年度	3,239
2007年度	3,785	合計	60,720

3 月別県内・県外学校、少年の船等団体観覧状況

月	児童・生徒・学生										少年の船・青年の船等				合計			
	県内					県外					県内・県外総計							
	小学校	中学校	高等学校	大学	計	小学校	中学校	高等学校	大学	計	小学校	中学校	高等学校	大学		計		
4月	団体数	17 (17)	3 (3)	2 (1)	0 (0)	22 (21)	0 (0)	101 (0)	31 (8)	2 (0)	134 (8)	17 (17)	104 (3)	33 (9)	2 (0)	156 (29)	4 (1)	160 (30)
	人数	1,871 (1,871)	736 (736)	319 (280)	0 (0)	2,926 (2,887)	0 (0)	10,939 (0)	2,799 (293)	114 (0)	13,852 (293)	1,871 (1,871)	11,675 (736)	3,118 (573)	114 (0)	16,778 (3,180)	160 (85)	16,938 (3,265)
5月	団体数	43 (43)	4 (4)	7 (7)	0 (0)	54 (54)	4 (0)	167 (0)	28 (0)	0 (0)	199 (0)	47 (43)	171 (7)	35 (7)	0 (0)	253 (54)	13 (10)	266 (64)
	人数	4,274 (4,273)	710 (710)	707 (707)	0 (0)	5,691 (5,690)	243 (0)	21,002 (0)	4,144 (0)	0 (0)	25,389 (0)	4,517 (4,273)	21,712 (710)	4,851 (707)	0 (0)	31,080 (5,690)	285 (240)	31,365 (5,930)
6月	団体数	35 (33)	9 (9)	8 (8)	1 (0)	53 (50)	7 (0)	67 (0)	57 (0)	1 (0)	132 (0)	42 (33)	76 (9)	65 (8)	2 (0)	185 (50)	10 (5)	195 (55)
	人数	2,349 (2,260)	1,210 (1,210)	847 (847)	41 (0)	4,447 (4,317)	231 (0)	8,996 (0)	8,289 (0)	79 (0)	17,595 (0)	2,580 (2,260)	10,206 (1,210)	9,136 (847)	120 (0)	22,042 (4,317)	349 (118)	22,391 (4,435)
7月	団体数	14 (13)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	19 (18)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	19 (0)	17 (14)	3 (3)	18 (2)	0 (0)	38 (19)	14 (1)	52 (20)
	人数	1,050 (986)	647 (647)	560 (560)	0 (0)	2,257 (2,193)	258 (169)	0 (0)	2,221 (0)	0 (0)	2,479 (0)	1,308 (1,155)	647 (647)	2,781 (560)	0 (0)	4,736 (2,362)	510 (24)	5,246 (2,386)
8月	団体数	4 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	4 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (2)	25 (0)	34 (2)
	人数	251 (196)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	251 (196)	0 (0)	0 (0)	196 (0)	0 (0)	196 (0)	251 (196)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	447 (196)	1,010 (0)	1,457 (196)
9月	団体数	4 (4)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	4 (0)	45 (0)	5 (0)	54 (0)	4 (4)	5 (1)	45 (7)	5 (0)	59 (5)	6 (2)	65 (7)
	人数	270 (270)	21 (21)	0 (0)	0 (0)	291 (291)	0 (0)	145 (0)	8,488 (0)	121 (0)	8,754 (0)	270 (270)	166 (21)	8,488 (560)	121 (0)	9,045 (291)	309 (60)	9,354 (351)
10月	団体数	18 (18)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	18 (18)	3 (0)	8 (0)	221 (0)	0 (0)	232 (0)	21 (18)	8 (2)	0 (0)	0 (0)	250 (18)	11 (3)	261 (21)
	人数	808 (808)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	808 (808)	329 (0)	833 (0)	43,230 (0)	0 (0)	44,392 (0)	1,137 (808)	833 (0)	43,230 (0)	0 (0)	45,200 (808)	442 (192)	45,642 (1,000)
11月	団体数	28 (27)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	30 (29)	0 (0)	19 (0)	195 (1)	0 (0)	214 (1)	28 (27)	21 (2)	195 (1)	0 (0)	244 (30)	3 (3)	247 (33)
	人数	957 (933)	418 (418)	0 (0)	0 (0)	1,375 (1,351)	0 (0)	2,195 (0)	39,910 (18)	0 (0)	42,105 (18)	957 (933)	2,613 (418)	39,910 (18)	0 (0)	43,480 (1,369)	78 (72)	43,558 (1,441)
12月	団体数	10 (10)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	39 (0)	170 (1)	1 (0)	110 (1)	10 (10)	41 (2)	170 (1)	1 (0)	222 (13)	8 (4)	230 (17)
	人数	586 (586)	291 (291)	0 (0)	0 (0)	877 (877)	0 (0)	3,092 (0)	29,353 (25)	19 (0)	32,464 (25)	586 (586)	3,383 (291)	29,353 (25)	19 (0)	33,341 (902)	253 (93)	33,594 (995)
1月	団体数	4 (4)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	8 (2)	0 (0)	68 (2)	4 (4)	8 (3)	61 (3)	0 (0)	73 (7)	6 (5)	79 (12)
	人数	335 (335)	0 (0)	22 (22)	0 (0)	357 (0)	0 (0)	944 (0)	11,289 (90)	0 (0)	12,233 (90)	335 (335)	944 (112)	11,311 (112)	0 (0)	12,590 (447)	236 (207)	12,826 (654)
2月	団体数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	16 (0)	51 (1)	2 (0)	73 (1)	4 (0)	16 (1)	51 (1)	2 (0)	73 (1)	5 (3)	78 (4)
	人数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	304 (0)	1,963 (1)	9,278 (0)	51 (0)	11,596 (1)	304 (0)	1,963 (0)	9,278 (1)	51 (0)	11,596 (1)	261 (109)	11,857 (110)
3月	団体数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)	61 (1)	0 (0)	66 (0)	0 (0)	5 (0)	61 (1)	0 (0)	66 (1)	11 (1)	77 (2)
	人数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	510 (0)	9,296 (15)	0 (0)	9,806 (0)	0 (0)	510 (0)	9,296 (15)	0 (0)	9,806 (15)	559 (36)	10,365 (51)
人数 合計	団体数	177 (171)	24 (24)	20 (19)	1 (0)	222 (214)	21 (1)	434 (0)	940 (14)	11 (0)	1,406 (15)	198 (172)	458 (24)	960 (33)	12 (0)	1,628 (229)	116 (38)	1,744 (267)
	人数	12,751 (12,518)	4,033 (4,033)	2,455 (2,416)	41 (0)	19,280 (18,967)	1,365 (169)	50,619 (0)	168,493 (442)	384 (0)	220,861 (611)	14,116 (12,687)	54,652 (4,033)	170,948 (2,858)	425 (0)	240,141 (19,578)	4,452 (1,236)	244,593 (20,814)

() は内数で無料入館者数

4 市町村別団体入館者数

市町村名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1 那覇市	28	2,667	3	621	5	427	0	0	36	3,715	30	1,673	66	5,388
2 うるま市	9	713	4	563	2	298	0	0	15	1,574	10	452	25	2,026
3 宜野湾市	4	414	1	21	0	0	0	0	5	435	7	240	12	675
4 宮古島市	11	509	0	0	0	0	0	0	11	509	0	50	11	559
5 石垣市	11	393	0	0	0	0	0	0	11	393	0	44	11	437
6 浦添市	11	1,496	2	536	0	0	0	0	13	2,032	8	679	21	2,711
7 名護市	11	648	1	37	0	0	0	0	12	685	3	139	15	824
8 糸満市	8	590	3	409	2	562	0	0	13	1,561	5	256	18	1,817
9 沖縄市	14	1,380	2	320	3	394	0	0	19	2,094	7	423	26	2,517
10 豊見城市	10	897	1	216	1	31	0	0	12	1,144	3	178	15	1,322
11 南城市	8	447	1	132	0	0	0	0	9	579	2	123	11	702
12 国頭村	2	37	0	0	0	0	0	0	2	37	2	61	4	98
13 大宜味村	0	0	1	89	0	0	0	0	1	89	0	48	1	137
14 東村	1	5	0	0	0	0	0	0	1	5	0	4	1	9
15 今帰仁村	3	105	0	0	0	0	0	0	3	105	1	46	4	151
16 本部町	2	116	0	0	1	29	0	0	3	145	2	84	5	229
17 恩納村	4	97	0	0	0	0	0	0	4	97	1	94	5	191
18 宜野座村	2	35	0	0	0	0	0	0	2	35	1	35	3	70
19 金武町	2	118	0	0	0	0	0	0	2	118	2	79	4	197
20 伊江村	2	43	0	0	0	0	0	0	2	43	1	37	3	80
21 読谷村	3	323	0	0	1	320	0	0	4	643	1	68	5	711
22 嘉手納町	2	130	0	0	2	67	0	0	4	197	33	848	37	1,045
23 北谷町	3	265	1	220	0	0	0	0	4	485	5	150	9	635
24 北中城村	2	175	1	190	1	280	0	0	4	645	1	55	5	700
25 中城村	1	42	0	0	0	0	0	0	1	42	0	3	1	45
26 西原町	5	334	1	208	0	0	1	41	7	583	2	112	9	695
27 八重瀬町	2	144	0	0	1	16	0	0	3	160	1	61	4	221
28 与那原町	2	200	1	219	0	0	0	0	3	419	0	28	3	447
29 南風原町	2	231	1	252	1	31	0	0	4	514	2	109	6	623
30 久米島町	4	83	0	0	0	0	0	0	4	83	0	16	4	99
31 渡嘉敷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	48	1	48
32 座間味村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33 栗国村	1	26	0	0	0	0	0	0	1	26	0	4	1	30
34 渡名喜村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35 南大東村	1	12	0	0	0	0	0	0	1	12	0	3	1	15
36 北大東村	1	11	0	0	0	0	0	0	1	11	0	3	1	14
37 伊平屋村	1	18	0	0	0	0	0	0	1	18	0	5	1	23
38 伊是名村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39 多良間村	1	31	0	0	0	0	0	0	1	31	0	3	1	34
40 竹富町	3	16	0	0	0	0	0	0	3	16	0	6	3	22
41 与那国町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	177	12,751	24	4,033	20	2,455	1	41	222	19,280	131	6,267	353	25,547

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

5 都道府県別団体入館者数

都道府県名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1 北海道	1	59	0	0	20	2,115	0	0	21	2,174	13	618	34	2,792
2 青森県	0	0	0	0	5	391	0	0	5	391	6	168	11	559
3 岩手県	0	0	3	309	8	593	0	0	11	902	0	59	11	961
4 宮城県	0	0	0	0	10	647	0	0	10	647	4	200	14	847
5 秋田県	0	0	2	84	1	49	0	0	3	133	1	75	4	208
6 山形県	0	0	7	744	6	581	0	0	13	1,325	2	107	15	1,432
7 福島県	0	0	3	158	23	3,493	0	0	26	3,651	2	263	28	3,914
8 茨城県	1	228	1	107	35	6,359	0	0	37	6,694	7	617	44	7,311
9 栃木県	0	0	0	0	38	7,589	0	0	38	7,589	0	458	38	8,047
10 群馬県	0	0	1	212	24	3,462	0	0	25	3,674	8	450	33	4,124
11 埼玉県	0	0	0	0	85	21,080	1	37	86	21,117	12	1,650	98	22,767
12 千葉県	0	0	1	47	58	13,776	1	79	60	13,902	5	874	65	14,776
13 東京都	1	25	11	1,537	187	33,766	7	212	206	35,540	67	5,282	273	40,822
14 神奈川県	2	42	5	411	93	20,945	1	26	101	21,424	8	1,213	109	22,637
15 新潟県	0	0	1	120	10	1,633	0	0	11	1,753	3	155	14	1,908
16 富山県	0	0	1	159	0	0	0	0	1	159	3	113	4	272
17 石川県	0	0	1	26	5	908	0	0	6	934	0	51	6	985
18 福井県	0	0	0	1	7	1,077	0	0	7	1,078	1	117	8	1,195
19 山梨県	0	0	0	0	20	3,355	0	0	20	3,355	4	356	24	3,711
20 長野県	0	0	0	0	40	7,133	0	0	40	7,133	3	444	43	7,577
21 岐阜県	0	0	1	155	47	8,731	0	0	48	8,886	5	646	53	9,532
22 静岡県	1	35	2	186	53	8,040	0	0	56	8,261	7	777	63	9,038
23 愛知県	0	0	9	1,585	64	10,457	0	0	73	12,042	15	1,259	88	13,301
24 三重県	0	0	9	891	10	1,951	1	30	20	2,872	4	327	24	3,199
25 滋賀県	0	0	26	3,552	1	18	0	0	27	3,570	2	329	29	3,899
26 京都府	2	70	20	2,794	15	2,284	0	0	37	5,148	2	551	39	5,699
27 大阪府	1	94	77	11,333	17	2,692	0	0	95	14,119	13	1,465	108	15,584
28 兵庫県	1	52	50	6,978	6	768	0	0	57	7,798	10	890	67	8,688
29 奈良県	0	0	29	3,374	2	208	0	0	31	3,582	2	321	33	3,903
30 和歌山県	0	0	6	323	1	25	0	0	7	348	2	118	9	466
31 鳥取県	0	0	8	855	0	0	0	0	8	855	3	162	11	1,017
32 島根県	0	0	2	170	3	79	0	0	5	249	1	48	6	297
33 岡山県	0	2	55	5,057	4	102	0	0	59	5,161	5	626	64	5,787
34 広島県	1	78	12	824	10	1,748	0	0	23	2,650	4	471	27	3,121
35 山口県	0	0	0	0	3	167	0	0	3	167	3	105	6	272
36 徳島県	0	0	2	297	0	0	0	0	2	297	1	51	3	348
37 香川県	0	0	14	2,278	1	100	0	0	15	2,378	3	243	18	2,621
38 愛媛県	0	0	1	174	6	375	0	0	7	549	4	154	11	703
39 高知県	0	0	15	1,258	0	0	0	0	15	1,258	2	153	17	1,411
40 福岡県	1	80	9	878	11	1,293	0	0	21	2,251	25	1,971	46	4,222
41 佐賀県	0	0	3	223	0	0	0	0	3	223	2	79	5	302
42 長崎県	0	0	3	221	2	73	0	0	5	294	4	192	9	486
43 熊本県	0	0	29	2,450	3	94	0	0	32	2,544	0	216	32	2,760
44 大分県	0	0	3	149	1	30	0	0	4	179	8	290	12	469
45 宮崎県	0	0	10	613	1	68	0	0	11	681	6	240	17	921
46 鹿児島県	9	600	2	86	3	87	0	0	14	773	5	231	19	1,004
合計	21	1,365	434	50,619	939	168,342	11	384	1,405	220,710	287	25,185	1,692	245,895
47 沖縄県	177	12,751	24	4,033	20	2,455	1	41	222	19,280	131	6,267	353	25,547

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

IX 八重山平和祈念館

1 概要

「戦争マラリア」の実相を後世に正しく伝えるとともに、人間の尊厳が保障される社会の構築と、八重山地域から世界に向けて恒久平和の実現を訴える「平和の発信拠点」の形成をめざす。

(1) 設立経過

1989（平成元）年

5月28日 戦争マラリア犠牲者の遺族らが、篠原武夫琉球大学教授を会長に「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者支援会」結成。国家補償を求めて活動を開始する。

10月16日 沖縄県議会（9月定例会）において、「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者の遺族補償に関する意見書」を決議される。

1995（平成7）年

12月25日 平成8年度国庫予算において、事務次官折衝の中でマラリア慰藉事業費として総額3億円が認められる。

慰藉事業の内訳は、次のとおりである。

- ① 慰霊碑建立
- ② 八重山平和祈念館建設
- ③ マラリア死没者慰藉の資料収集・編纂『悲しみをのり越えて』発行等
- ④ マラリア死没者慰藉のための追悼式

1997（平成9）年

3月31日 八重山平和祈念館竣工

1998（平成10）年

1月～ 八重山平和祈念館基本計画検討委員会開催（3月まで）

5月 八重山平和祈念館基本計画策定

11月～ 八重山平和祈念館監修委員会開催（平成11年2月まで）
八重山平和祈念館展示設計及び展示製作業務発注（平成11年3月まで）

1999（平成11）年

3月 「沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例」議決・公布
「八重山平和祈念館」は「沖縄県平和祈念資料館」の分館となる。

5月28日 八重山平和祈念館開館式

5月29日 八重山平和祈念館一般公開

(2) 施設の概要

① 総面積 : 520 m²

② 各室面積

第1展示室 : 130 m²

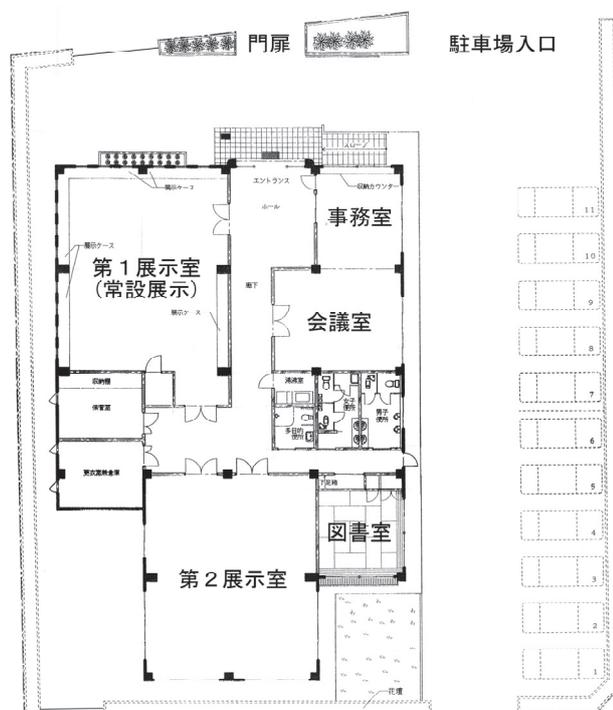
第2展示室 : 120 m²

保管室 : 20 m²

会議室 : 72 m²

事務室 : 3人規模

- (3) 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- (4) 休館日
毎週月曜日（月曜日が休日の場合は開館）及び年末年始の12月29日から1月3日まで
- (5) 観覧料
大人 100円 団体（20名以上）70円
小人 50円 団体 35円
- (6) 展示構成
① アジア・太平洋戦争に起因する沖縄戦
② 沖縄戦と八重山
③ 戦争マラリアの悲劇
④ マラリア根絶に向かって
⑤ 戦争マラリア援護会の活動
⑥ 八重山地域における平和発信拠点を目指して
- (7) 展示物の内容
① 写真、地図、絵のパネル等
② 図画、作文
③ 戦前の切手、紙幣、硬貨等
④ 遺品類（ハガキ、キセル等）
⑤ 高熱に苦しむ母子像（マラリア患者の看病の様子）



3 事業概要

(1) 展示活動

① 「旧南洋群島へ渡った沖縄県人～楽園から玉砕の島へ 70年の時を越えて～」展

戦前、多くのウチナーンチュが移民しながら、語られることの少ない南洋群島での生活について、戦前、戦中、戦後の3部に分けて紹介した。

[期間] 平成26年5月31日(土)～6月29日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[展示内容] 第1部 戦前の南洋への移民

第2部 戦中の戦争体験と南洋群島からの引き上げ

第3部 戦後の南洋とのつながり

[入場者] 1,414名



② 夏休み企画展「八重山の昔ばなし」展 (パネル展)

親から子へ、子から孫へ、各地域や課程で綿々と語り継がれる、八重山地区の民話や昔ばなしについて、パネル、書籍及び映像にて紹介した。

[期間] 平成26年8月1日(金)～8月31日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[展示内容] 八重山の昔ばなしについて、

[入場者] 342名



③ 「貧困の中で生きる子どもたち」展

世界の子どもの人権について知ってもらうため、不自由な環境で生きる子ども達の状況を紹介するとともに、それを支援するNPOアジアチャイルドサポート、NGO ユイマール等の団体についても紹介した。

[期間] 平成26年11月1日(土)～11月30日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[入場者] 601名

④ 第15回特別企画展「南洋の群星が見た理想郷と戦」

～70年の時を超えて 旧南洋群島ウチナーンチュの汗と血と涙～ (本館移動展)

戦前・戦中・戦後と、日米の双方に深くかかわったハワイウチナーンチュ移民を取り上げ、戦争の愚かさや国境を越えた人間の尊厳を通して平和について考える企画展とする。

[期間] 平成27年1月17日(土)～2月26日(木)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[展示内容] 第1部 生まれ島から希望の島へ

第2部 希望の島から玉砕の島へ

第3部 玉砕の島から捨て石の島へ

[参加者] 516名

(2) 平和教育活動

① 学校教員向け見学説明会

学校で平和活動が活発に行われる6月を前に、学校教員を対象に、館内の展示解説、利用や活用方法等を説明し、学校の利用促進を図った。

[日時] 平成26年6月3日(火)～6月5日(金)

[場所] 八重山平和祈念館

[参加者] 26名(初任者教員及び初任研担当教員)



② 慰霊の日 ビデオ上映会

沖縄慰霊の日にあたり、平和とは何かを考えさせる映画を上映することで、児童生徒への平和教育への一環とした。

[日時] 平成26年6月23日(月)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[入場者] 36名



③ 第24回 児童・生徒の平和メッセージ展

本館が主催し応募した、児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩の優秀作品を展示し、「児童・生徒の平和メッセージ」を発信する機会とした。

[期間] 平成26年7月16日(水)～7月27日(日)

[場所] 八重山平和祈念館 第2展示室

[入場者] 198名



④ 夏休み平和学習会（自由研究相談室、アニメ上映会及び体験コーナー）

夏休みの平和学習の場として、自由研究等に主体的に取り組む児童生徒への支援を行い、あわせて体験コーナーやアニメ上映会も行った。

[期間] 平成26年8月1日（金）～8月31日（日）

[場所] 八重山平和祈念館

[内容] ア 夏休み自由研究相談室

イ 体験学習コーナー

（「パーランクーを作ろう!」、「マラリアについて学ぼう!」。

ウ 夏休みアニメ上映会

[参加者] 63名



⑤ 児童・生徒の職場体験

児童・生徒の望ましい職業観・勤労観を育むため、八重山平和祈念館で児童・生徒を受け入れた。

[期間] 平成26年10月24日（金）

ジョブシャドウイング 大本小学校 1名

⑥ 八重山平和祈念館平和ガイド育成への取り組み ※新規

6月の慰霊の日に向けて、高校生を中心とした平和ガイド育成講座を行った。

これから、平和ガイドの活動として、平和学習で来館する児童生徒に対して館内の解説を予定している。

[期間] 平成27年2～3月

[場所] 八重山平和祈念館

[内容] 平成27年2月21日 沖縄県平和祈念資料館及び八重山平和祈念館について

平成27年2月12日 沖縄戦と八重山の戦争（戦前～沖縄戦）

平成27年3月13日 体験者の講話、戦争遺跡巡り

平成27年3月21日 戦後の沖縄と八重山（戦後～現在）、現在の世界の状況

[参加者] 八重山高等学校 1名、八重山農林高等学校 1名

(3) 調査研究活動

① 聞き取り・現地調査等

企画展や特別企画展の充実、戦争マラリアや八重山地域の戦争に関する認識を深めるため、資料収集に合わせて体験者への聞き取り調査や、現地調査を実地した。

[対象] 戦争体験や企画に関する人や場所等。

[内容] 平成26年11月13日（木）不屈館

平成27年1月22日（木）沖縄市戦後文化ヒストリート、佐喜真美術館、嘉数台公園視察

平成27年1月23日（金）南風原文化センター、陸軍病院跡、海軍壕公園、沖縄国際平和研究所視察

平成27年3月16日（月）西表島船浮要塞の戦争遺跡現地調査

月別入館者数 平成26年度 八重山平和祈念館

	常設展示室(第1展示室)										第2展示室	
	個人入館者数			団体入館者数			入館者総数				企画展等 入館者数 ※入場無料	
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計			
2014年 4月	122 (4)	7 (2)	129 (6)			0 (0)	122 (4)	7 (2)	129 (6)			
2014年 5月	143 (9)	14 (8)	157 (17)	11 (4)	67 (0)	78 (4)	154 (13)	81 (8)	235 (21)	20		
2014年 6月	306 (161)	150 (144)	456 (305)	140 (68)	542 (542)	682 (610)	446 (229)	692 (686)	1,138 (915)	1,394		
2014年 7月	137 (2)	32 (9)	169 (11)	12 (12)	87 (87)	99 (99)	149 (14)	119 (96)	268 (110)	198		
2014年 8月	193 (20)	95 (36)	288 (56)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	193 (20)	95 (36)	288 (56)	342		
2014年 9月	147 (1)	26 (14)	173 (15)	1 (0)	24 (0)	25 (0)	148 (1)	50 (14)	198 (15)	0		
2014年 10月	146 (3)	10 (4)	156 (7)	4 (1)	52 (0)	56 (1)	150 (4)	62 (4)	212 (8)	0		
2014年 11月	155 (27)	19 (16)	174 (43)	91 (9)	268 (0)	359 (9)	246 (36)	287 (16)	533 (52)	601		
2014年 12月	139 (12)	8 (6)	147 (18)	78 (5)	154 (0)	232 (5)	217 (17)	162 (6)	379 (23)			
2015年 1月	201 (4)	20 (10)	221 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	201 (4)	20 (10)	221 (14)	252		
2015年 2月	217 (10)	12 (8)	229 (18)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	217 (10)	12 (8)	229 (18)	264		
2015年 3月	177 (20)	15 (5)	192 (25)	3 (0)	19 (0)	22 (0)	180 (20)	34 (5)	214 (25)			
合計	2,083 (273)	408 (262)	2,491 (535)	340 (99)	1,213 (629)	1,553 (728)	2,423 (372)	1,621 (891)	4,044 (1,263)	3,071		

()は内数で無料入場者数

X 沖縄県平和祈念資料館友の会

1 活動内容

- (1) 県内学校及び地域における平和学習支援
- (2) 平和講話及び絵本の読み聞かせ
- (3) ポイントガイド（平和祈念公園地域の案内等）
- (4) 戦跡案内
- (5) バス乗車
- (6) その他

2 申込方法

別紙「派遣依頼申込書」に必要事項を記入の上、全行程を含む旅行行程表を添えて下記の事務局まで、FAXまたは郵送してください。

事務局：沖縄県平和祈念資料館友の会

所在地：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の 1

TEL：098-997-3844（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

FAX：098-997-3947（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

*学校名、団体名、連絡窓口、担当者名には必ずフリガナをつけてください。

*決定通知は事務局よりFAXでお知らせします。

*電話での申込及び変更には応じられませんのでご了承ください。

3 申込条件

- (1) 申込締切は原則として2ヶ月前とします
- (2) 平和学習の団体については事前学習を実施してください。
- (3) 協力金は次のとおりです。

県内学校及び地域における学習支援	1回につき	5,000円
平和講話	1回につき	10,000円
ポイントガイド	1回につき	5,000円
バス乗車	1回につき	10,000円

※協力金は終了後直接本人にお渡しください。

- (4) 事故に関しまして沖縄県平和祈念資料館友の会は一切責任を負いません。

4 平成26年度 講話・ガイド活動実績件数

◎平成26年4月～平成27年2月までの活動状況

(県外)

団体	実施件数	実施人数	派遣講師
高等学校	56	9,396	56
中学校	60	4,589	47
小学校	2	192	2
その他	20	538	20
計	125	14,840	125

(県内)

高等学校	9	6,423	9
中学校	17	3,445	17
小学校	15	7,961	15
その他	11	344	11
合計	52	18,163	52

(県外・県内)

合計	177	33,003	177
----	-----	--------	-----

5 平成26年度 活動内容

- (1) 2階常設展示室の解説員(82回)
- (2) 協力事業：平成26年4月26日(土)「平和祈念財団」鯉のぼり掲揚式への協力
- (3) 友の会総会：平成26年5月17日(土)
- (4) 学習会1：平成26年6月7日(土)
戦跡フィールドワーク：「徒歩で行く安里から首里への道 月桃の花咲く頃」
- (5) ガイド：平成26年8月13日(水)
「平和教育」「平和の礎・国立沖縄戦没者墓苑ガイド」
沖縄県立高等学校、特別支援学校初任者及び新規養護教諭、幼稚園教諭、
学校栄養職員研修
- (6) 協力事業：平成26年10月3日(金)
「平和祈念財団」平和祈念公園愛護活動への協力
- (7) 協力事業：平成26年10月16日(木)「摩文仁の戦跡めぐり」
沖縄・カンボジア「平和文化」創造の博物館づくり協力
- (8) 協力事業：平成27年2月5日(木)
「平和祈念財団」職員研修・摩文仁が丘現場研修協力



総会の様子



フィールドワークの様子

XI 関係条例・規則・要綱

1 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（昭和49年沖縄県条例第30号）の全部を改正する。

〔設置〕

第1条 第二次世界大戦で貴い命を失ったすべての人々に哀悼の意を表すとともに、悲惨な戦争の教訓を後世に伝え、世界の恒久平和の実現に寄与するため、沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）及び平和の礎を設置する。

2 平和祈念資料館に分館として八重山平和祈念館を置く。

〔位置〕

第2条 平和祈念資料館（分館を除く。）及び平和の礎の位置は、糸満市字摩文仁とする。

2 八重山平和祈念館の位置は、石垣市新栄町とする。

〔事業〕

第3条 平和祈念資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 沖縄戦及び平和に関する資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 沖縄戦に関する調査及び研究に関すること。
- (3) 沖縄戦における戦争体験の継承に関すること。
- (4) 平和に関する講演会、学習会等の平和を考える場の提供に関すること。
- (5) その他設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

〔平和祈念資料館の利用の禁止又は制限〕

第4条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、平和祈念資料館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 資料又は建物若しくは工作物若しくは附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔観覧料〕

第5条 平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納めなければならない。

2 平和祈念資料館において特別に展示する資料等を観覧させる場合の当該資料を観覧する者は、前項の規定にかかわらず、500円を超えない範囲内でその都度知事が定める額の観覧料を納めなければならない。

3 前2項の観覧料は、観覧の際に納めなければならない。

〔使用の許可〕

第6条 別表第2に掲げる平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）を使用しようとする者は、あらかじめ知事の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「使用者」という。）が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 知事は、施設等の管理上必要と認めるときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。

3 知事は、第1項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、許可をしないことができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 公益を害するおそれがあるとき。
- (3) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があるとき。

〔使用料〕

第7条 使用者は、別表第2に定める使用料を納めなければならない。

2 前項の使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、後納することができる。

〔観覧料又は使用料の減免〕

第8条 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料を減額し、又は免除することができる。

〔観覧料及び使用料の不還付〕

第9条 既に納付した観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りではない。

〔使用権の譲渡等の禁止〕

第10条 使用者は、施設等を使用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

〔許可の取消し等〕

第11条 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、第6条第1項の許可を取り消し、又は施設等の使用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- (3) 許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 第6条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

〔原状回復義務〕

第12条 使用者は、施設等の使用が終了したとき、又はその使用の許可が取り消されたときは、直ちにこれを原状に回復して返還しなければならない。

〔平和の礎の管理〕

第13条 平和の礎の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事の指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

〔指定管理者の業務〕

第14条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第18条の規定による利用の禁止又は制限に関する業務
- (2) 平和の礎の工作物及び附属設備の維持及び修繕に関する業務
- (3) 前2号に掲げるもののほか、平和の礎の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

〔指定管理者の指定の申請〕

第15条 第13条の規定による指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に事業計画書その他規則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、知事に提出しなければならない。

〔指定管理者の指定〕

第16条 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に平和の礎の管理を行うことができると認められるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、平和の礎の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、平和の礎の設置目的を達成するために十分な能力を有するものであること。

〔指定管理者の指定等の告示〕

第17条 知事は、前条の規定により指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。

2 前項の規定は、法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

〔平和の礎の利用の禁止又は制限〕

第18条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するものに対し、平和の礎の観覧を拒否することができる。

- (1) 工作物又は附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔損害の賠償等〕

第19条 平和祈念資料館の資料若しくは建物若しくは附属設備又は平和の礎の工作物若しくは附属設備を汚損し、損傷し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又は相当の代価をもって賠償しなければならない。ただし、知事がやむを得ない理由があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。

〔事業報告書の提出〕

第20条 指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。

〔運営協議会〕

第21条 平和祈念資料館の運営に関する重要事項について協議するため、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。

2 運営協議会の組織、運営その他必要な事項は、規則で定める。

〔規則への委任〕

第22条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

備 考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）

別表第1（第5条関係）

区 分		観 覧 料	
		個 人	20人以上の団体
平和祈念資料館 (分館を除く。)	大 人	300円	1人につき 240円
	小 人	150円	1人につき 100円
八重山平和祈念館	大 人	100円	1人につき 70円
	小 人	50円	1人につき 35円

備考

- 1 この表において「大人」とは、学生を除く成年者をいう。
- 2 この表において「小人」とは、学齢に達しない者を除く未成年者又は学生をいう。

別表第2（第7条関係）

1 施設使用料

区 分	単 位	使 用 料	
平和祈念資料館 (分館を除く。)	ホ ー ル	1時間につき	1,570円
	展 示 室	1日につき	4,520円
	大会議室	1時間につき	620円
	中会議室	1時間につき	430円
	小会議室	1時間につき	190円
八重山平和祈念館	展 示 室	1時間につき	100円

2 附属設備使用料

種 別	単 位	使 用 料
舞台器具	1回1点又は一式につき	700円以内で知事が定める額
音響器具	1回1点又は一式につき	500円以内で知事が定める額
照明器具	1回1点又は一式につき	460円以内で知事が定める額
そ の 他	1回1点又は一式につき	1,260円以内で知事が定める額

備考

- 1 許可された使用時間を超過して使用する場合は、追加使用料を徴収する。この場合において、当該超過して使用した時間が1時間未満であるとき又は当該使用時間に1時間未満の端数があるときは、その使用時間又はその端数時間を1時間として計算する。
- 2 ホールを練習、準備のため専用して使用する場合の使用料の額は、この表の区分に従い、当該区

分に定める額の100分の30に相当する額とする。

- 3 1 及び 2 において算出された使用料の額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。
- 4 施設の冷房を使用する場合は、その実費に相当する額を使用料として別に徴収する。

2 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関する規則（昭和49年沖縄県規則第57号）の全部を改正する。

〔趣旨〕

第1条 この規則は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（平成12年沖縄県条例第11号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

〔開館時間〕

第2条 沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、平和祈念資料館に展示している資料等の観覧のための展示室への入室は午後4時30分までとする。

2 知事は、特別の理由があると認めるときは、前項に規定する開館時間外においても平和祈念資料館を使用させることができる。

〔休館日〕

第3条 平和祈念資料館の休館日は、次のとおりとする。

ただし、第1号に規定する休館日は、八重山平和祈念館に限る。

(1) 定期休館日 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（元日を除く。）又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和49年沖縄県条例第42号、以下「慰霊の日を定める条例」という。）第2条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日を除く。）

(2) 年始休館日 1月1日から同月3日まで

(3) 年末休館日 12月29日から同月31日まで

(4) 臨時休館日 特別の事情により知事が休館を必要と認めた日

2 前項第4号の臨時休館日は、あらかじめ公告するものとする。ただし、天災地変その他やむを得ない理由がある場合は、この限りでない。

〔観覧券の交付〕

第4条 知事は、平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者が、条例別表第1に定める観覧料を納付した場合は、観覧券（第1号様式）を交付するものとする。

〔観覧料の免除〕

第5条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第8条の規定により、観覧料を免除する。

(1) 慰霊の日を定める条例第2条に規定する慰霊の日に観覧する場合

(2) 沖縄県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童生徒及び教職員で、教育課程に基づく教育活動の一環として観覧する場合

(3) 平和祈念資料館の広報宣伝に資すると認められる取材のために観覧する場合

(4) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定に基づいて身体障害者手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(5) 知的障害者で都道府県知事又は地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第1項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定に基づいて精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(7) 前6号に掲げるもののほか、知事が特に必要と認める場合

2 前項第2号、第3号及び第7号の規定により、観覧料の免除を受けようとする者は、観覧料免除申請書（第2号様式）を知事に提出し、承認を受けなければならない。

3 第1項第4号、第5号及び第6号に該当する者が観覧料の免除を受けようとするときは、身体障害者手帳又は療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳を提示しなければならない。

〔使用許可の申請〕

第6条 条例第6条第1項の規定により、平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）

の使用許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書（第3号様式）を知事に提出しなければならない。

- 2 前項の申請書は、ホールについては使用しようとする日（引き続き2日以上使用する場合は、その最初の日。以下同じ。）の6月前から1週間前まで、ホール以外の施設については使用しようとする日の3月前から3日前までの期間内に提出しなければならない。
- 3 知事は、前項の規定にかかわらず、必要があると認めるときは、前項に定める期間を変更することができる。

〔使用許可書の交付〕

第7条 知事は、使用許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用許可書（第4号様式、以下「使用許可書」という。）を申請者に交付するものとする。

〔使用許可の変更又は取消し〕

第8条 使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用許可を得た事項を変更しようとするときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可申請書（第5号様式）に使用許可書を添えて、知事に提出しなければならない。

- 2 知事は、使用の変更の許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書（第6号様式）を使用者に交付するものとする。
- 3 使用者は、使用の取消しをしようとするときは、使用許可書（前項の沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書を含む。）を添えて、沖縄県平和祈念資料館使用取消届（第7号様式）を知事に提出しなければならない。

〔附属設備等の使用料〕

第9条 条例別表第2第2号の表に規定する知事が定める額及び同表備考4の規定により実費に相当する額を使用料として別に徴収する額は、別表のとおりとする。

〔使用料の納付〕

第10条 平和祈念資料館の施設使用料は、使用許可書の交付を受ける際に、納付しなければならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

- 2 平和祈念資料館の附属設備使用料は、知事が定める日までにその全額を納付しなければならない。
- 3 条例第7条第2項ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとする。
 - (1) 条例別表第2備考1に規定する使用料を納付するとき。
 - (2) 国又は地方公共団体が使用するとき。
 - (3) 知事がやむを得ないと認めるとき。

〔使用料の返還〕

第11条 条例第9条ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとし、返還する使用料の額は、当該各号に定める額とする。

- (1) 天災その他使用者の責めに帰することができない事情により使用できなかったとき。
当該使用料の全額
 - (2) 使用者が、ホールを使用しようとする日前30日までに使用の取消しを届け出たとき。
当該使用料の5割。
 - (3) 使用者がホール以外の施設を使用しようとする日前15日までに使用の取消しを届け出たとき。
当該使用料の5割
- 2 条例第9条ただし書の規定により使用料の返還を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料返還申請書（第8号様式）を知事に提出しなければならない。

〔使用料の減免〕

第12条 条例第8条の規定により使用料を減額し、又は免除することができる場合は、次の各号に掲げるときとし、当該各号に定めるとおり減額し、又は免除するものとする。

- (1) 沖縄県が使用するとき。 免除
- (2) 国又は地方公共団体若しくは公共的団体（以下「国等」という。）が、沖縄県と共催し、平和に

関する事業を行うために使用するとき。 免除

(3) 国等が、平和に関する事業を行うために使用するとき。 5割

(4) 前3号に掲げるもののほか、知事が特に必要があると認めるとき。 知事が定める割合

2 条例第8条の規定により使用料の減額又は免除を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書(第9号様式)を知事に提出しなければならない。

3 知事は、使用料の減額又は免除を承認したときは、沖縄県平和祈念資料館使用料減免承認書(第10号様式)を使用者に交付するものとする。

〔使用方法等の事前打合わせ〕

第13条 使用者は、事前に係員と施設等の使用方法、遵守事項その他必要事項を打ち合わせなければならない。

〔使用者の遵守事項〕

第14条 使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 使用を許可されていない施設等を使用しないこと。

(2) 入場者の安全確保の措置を講ずること。

(3) 入場者の秩序を維持するため、責任者を置き、及び必要に応じて整理員を置くこと。

(4) 施設等は、善良なる管理者の注意をもって管理すること。

〔行為の制限〕

第15条 使用者又は入場者は、平和祈念資料館において、次に掲げる行為をしてはならない。

(1) 火災、爆発その他危険を生じのおそれのある行為

(2) 騒音又は大声を発し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為

(3) 施設等を汚損し、損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれのある行為

(4) 許可を受けないで行う広告類の掲出又は配布

(5) 許可された場所以外の場所への立入り

(6) 所定の場所以外の場所での飲食又は喫煙

(7) 許可を受けないで寄附金品を募集し、又は物品若しくは飲食物を販売し、若しくは提供する行為

(8) 前各号に掲げるもののほか、知事が不相当と認める行為

〔損傷等の届出〕

第16条 使用者は、その使用に際し、施設等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、直ちにその旨を係員に届け出て、その指示を受けなければならない。

〔使用後の点検〕

第17条 使用者は、施設等の使用を終えたときは、係員の点検を受けなければならない。

〔寄贈及び寄託〕

第18条 知事は、戦争及び平和に関する資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 資料の寄贈又は寄託をしようとする者は、あらかじめ資料寄贈申込書(第11号様式)又は資料寄託申請書(第12号様式)を提出しなければならない。

3 前項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返還しない。

〔受領証の交付〕

第19条 知事は、前条第1項の規定により寄託を受けたときは、寄託者に対し、寄託物受領証(第13号様式)を交付するものとする。

〔寄託資料の保管〕

第20条 第18条第1項の規定により寄託された資料の管理は、平和祈念資料館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

〔寄託資料の返還〕

第21条 寄託資料は、寄託期間の終了、寄託者の請求又は平和祈念資料館の都合により返還できるものとする。

2 寄託者は、前項の規定により寄託資料を返還する場合は、寄託物受領証も同時に返付しなければならない。

〔資料の貸出〕

第22条 知事は必要と認めるときは、条件を付して資料の館外貸出しを許可することができる。

2 資料の館外貸出しを受けようとする者は、あらかじめ資料貸出申請書（第14号様式）を知事に提出しなければならない。

〔許可証の交付〕

第23条 知事は、資料の館外貸出しを許可した場合は、資料貸出許可証（第15号様式）を交付するものとする。

〔貸出資料の保管〕

第24条 第22条第1項の規定により貸出しを受けた資料（以下「貸出資料」という。）は、貸出しを受けた者（以下「利用者」という。）が責任をもって保管しなければならない。

〔貸出資料の返還〕

第25条 利用者は、貸出期間が終了したときは、貸出資料を速やかに返還しなければならない。

2 貸出資料は、平和祈念資料館の都合により、貸出期間中といえども返還させることができる。

3 利用者は、前2項の規定により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。

〔指定管理者の指定申請書等〕

第26条 条例第15条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書（第16号様式）によるものとする。

2 条例第15条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。

(1) 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書

(2) 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市町村長が発行するものに限る。）

(3) 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類

(4) 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）

(5) 役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類

(6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

〔事業報告書〕

第27条 条例第20条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。

(1) 平和の礎の管理運営に関する業務（以下「業務」という。）の実施状況

(2) 業務に係る収支状況

(3) 前2号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

〔運営協議会の組織等〕

第28条 条例第21条に規定する沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員は、学識経験者、教育関係者等のうちから知事が委嘱し、又は任命する。

3 運営協議会の委員の任期は2年とし、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。

4 運営協議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する。

5 会長は運営協議会を代表し、会務を総理する。

6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

7 運営協議会の会議は、会長が招集し、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

8 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

9 会議は公開とする。ただし、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。

10 運営協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

11 運営協議会の委員は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

- 12 運営協議会の庶務は、平和祈念資料館において処理する。
- 13 その他運営協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

〔補則〕

第29条 この規則に定めるもののほか、平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関し必要な事項は、知事が別に定める。

備 考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）
平成18年3月31日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成19年3月23日一部改正（平成19年4月1日施行）

別表（第9条関係）

1 附属設備使用料

種別	品目	単位	使用料
ホール	舞台器具	演台	1台 300円
		司会者卓	1台 150円
		花台	1台 100円
		金びょうぶ	1双 700円
	音響器具	ダイナミックマイク	1本 230円
		ワイヤレスマイク	1本 450円
		カセットテープレコーダー	1台 300円
		CDプレーヤー	1台 500円
		ビデオデッキ (VHS)	1台 500円
		レーザーディスクプレーヤー	1台 500円
	照明器具	ボーダーライト (150W×48灯)	1列 250円
		サスペンションライト (500W×12台)	1列 300円
		シーリングスポットライト (500W×15台)	1列 460円
		アッパーホリゾンライト (150W×60灯)	1列 360円
ローアホリゾンライト (150W×60灯)		1列 300円	
フットライト (60W×48灯)		1列 100円	
フォロースポットライト (1KW)		1式 100円	
その他	映写機 16mm	1台 1,260円	
	スライドプロジェクター	1台 520円	
会議室	音響器具	ダイナミックマイク	1本 230円
		ワイヤレスマイク	1本 450円
		カセットテープレコーダー	1台 300円
		CDプレーヤー	1台 400円
		ビデオデッキ (VHS)	1台 400円
	その他	ビデオプロジェクター	1台 1,260円
		オーバーヘッドプロジェクター	1台 520円
展示室	その他	展示ケース (大)	1台 1,000円
		展示ケース (小)	1台 500円

備考 ホール及び会議室の附属設備使用料は、1ステージごとに徴収する。ただし、長時間連続して使用する場合は、4時間ごとに1ステージとみなす。

2 施設冷房使用料

区	分	単位	使用料
平和祈念資料館 (分館を除く)	ホール	1時間につき	2,110円
	展示室	1時間につき	890円
	大会議室	1時間につき	700円
	中会議室	1時間につき	460円
	小会議室	1時間につき	110円
八重山平和祈念館	展示室	1時間につき	100円

3 八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱

〔設置〕

第1条 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第28条第13項の規定により、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に、八重山平和祈念館部会（以下「部会」という。）を設置する。

〔任務〕

第2条 部会は、八重山平和祈念館の運営に関する重要事項について調査、審議し、その結果を運営協議会に報告する。

〔構成〕

第3条 部会は、運営協議会副会長を部会長とする3人の運営協議会の委員（以下「部会委員」という。）で構成する。

2 部会委員は、運営協議会で選任する。

3 部会委員の任期は、運営協議会の委員の在任期間とする。

〔部会長〕

第4条 部会長は、会務を総理し、部会を代表する。

2 部会長に事故があるときは、部会長があらかじめ指名した部会委員がその職務を代理する。

〔会議〕

第5条 部会は、部会長が招集する。

2 部会は、必要があると認めるときは、部会に専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

3 会議は、公開とする。ただし、出席した者の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。

〔秘密の保持〕

第6条 部会委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

〔補 則〕

第7条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が定める。

附 則

この要綱は、平成12年12月6日から施行する。

X II 資 料

各種申請書・要項

沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年年度別入館者状況

沖縄県平和祈念資料館使用許可条件

- 1 使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。
 - (1) 使用を許可されていない施設等を使用しないこと。
 - (2) 入場者の安全確保の措置を講ずること。
 - (3) 入場者の秩序を維持するため、責任者を置き、及び必要に応じて整理員を置くこと。
 - (4) 施設等は、善良なる管理者の注意を持って管理すること。

- 2 使用者又は入場者は、次の各号に掲げる行為をしてはならない。
 - (1) 火災、爆発その他危険を生じるおそれのある行為
 - (2) 騒音又は大声を発し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為
 - (3) 施設等を汚損し、損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれのある行為
 - (4) 許可を受けないで行う広告類の提出又は配布
 - (5) 許可された場所以外の場所への立入り
 - (6) 所定の場所以外の場所での飲食又は喫煙
 - (7) 許可を受けないで寄附金品を募集し、又は物品若しくは飲食物を販売し、若しくは提供する行為
 - (8) 前各号に掲げるもののほか、知事が不相当と認める行為

第2号様式（第5条関係）

観覧料免除申請書

平成 年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電 話 番 号

次のとおり 沖縄県平和祈念資料館(分館を除く。)の観覧料の免除を申請します。
八 重 山 平 和 祈 念 館

観覧の目的	
観覧者数	人
観覧の日時	平成 年 月 日 () 時 分 から 時 分 まで
引率者氏名 又は 観覧者氏名	
備 考	

第3号様式（第6条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書

平成 年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者 干
住 所
団 体 名
代表者氏名
電 話 番 号

印

次のとおり使用したいので申請します。

催物の名称					
使用目的					
催物の内容					
使用施設	使 用 日 時				人 員
ホ ー ル	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分	～		
	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分			
展 示 室	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分	～		
	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分			
大 会 議 室	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分	～		
	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分			
中 会 議 室	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分	～		
	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分			
小 会 議 室	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分	～		
	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分			
八重山平和 祈念館展示室	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分	～		
	平成 年 月 日 () 午後・午前	時 分			
使 用 附 属 設 備					
入 場 料	無 料	指定席 整理券	自由席 会員券	入場予定人員	名
	有 料 (円)				
使用責任者 氏 名	使用責任者 の電話番号				
	施設使用料	付属設備使用料	冷房使用料	使用料減免額	計
使 用 料	円	円	円	円	円

(注) 太線の枠内は、記入しないでください。

第9号様式（第12条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書

平成 年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者 干

住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電 話 番 号

次のとおり使用料の減額・免除を申請します。

催物の名称	
使用目的	
催物の内容	
使用期間	平成 年 月 日 () 時 分から 平成 年 月 日 () 時 分まで
減額・免除を申請する理由	平和事業に利用するため
備 考	

(注) この申請書は、使用許可申請書と同時に提出すること。

第11号様式（第18条関係）

資料寄贈申込書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電 話 番 号

次の資料を 沖縄県平和祈念資料館(分館を除く。) に寄贈いたします。
八 重 山 平 和 祈 念 館

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	

寄 贈 受 諾 証

申込みのあった資料の寄贈を受諾します。
ただし、寄贈を受けた資料は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第18条第3項の規定により返還されません。

年 月 日

沖縄県知事

印

第12号様式（第18条関係）

資料寄託申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住 所

団 体 名

代表者氏名

印

電話番号

次の資料を 沖縄県平和祈念資料館(分館を除く。) に寄託いたします。
八 重 山 平 和 祈 念 館

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
寄託期間	年 月 日から 年 月 日まで

年 月 日

展示資料等の撮影・複製・掲載・放映許可申請書

沖縄県平和祈念資料館長 殿

沖縄県平和祈念資料館所蔵の展示資料等の撮影・複製・掲載・放映について下記のとおり許可されたく申請します。撮影・複製にあたっては、沖縄県平和祈念資料館のご指示を遵守し、掲載及び放映については、著作権法に定める一切の責任を私において負担することはもちろんのこと、沖縄県平和祈念資料館に対していささかのご迷惑もおかけしないことを誓約いたします。

所在地又は住所（郵便番号・電話番号を明記）

会社名（団体）
責任者名又は担当者名

印

記

- 1 目的
- 2 申請資料名
- 3 掲載書名等及び発行予定日（放映等にあたってはその番組名と放送予定日）
- 4 撮影日時
- 5 撮影担当者

許可条件 （1）上記目的以外に使用しないこと。
（2）掲載・放映に際しては「沖縄県平和祈念資料館提供」の旨を表示すること。
（3）使用目的の完了後、すみやかに成果品を提供すること。
（4）資料に記載されている情報のうち、プライバシーや個人情報の保護に十分に配慮し、違法又は人権を侵害する利用となる場合には、文書資料の内容をそのまま公にしないこと。

資料貸出要項

1 貸出資料

写真パネル（沖縄戦172点 サイパン・テニアン戦29点）
児童・生徒の平和メッセージ図画・作文・詩入選作品パネル
世界人権宣言絵画パネル一式（35点）
沖縄戦実物資料（20種類）

2 貸出条件（条例施行規則第22、23条）

- (1) 貸出資料は、当館が適切と認める公共団体等の展示等で利用・活用されること。
- (2) 貸出申請の際には、身元確実な保証人がいなければならない。
- (3) 貸出申請者は、この許可証を紛失したときは、速やかに届け出なければならない。
- (4) 貸出申請者は、貸出資料を他人に譲渡し、または貸与してはならない。
- (5) 貸出申請者は、貸出資料を貸出期限に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。
- (6) 貸出申請者は、貸出資料の原型に変更を加えてはならない。
- (7) 貸出申請者は、貸出資料を滅失し、または著しく汚損し、もしくはき損した場合は、これを原型に復し、または相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。

3 特記事項

- (1) 貸出資料数は、原則として20点以内とする。
- (2) 資料貸出期間は、原則として1ヶ月以内とする。
- (3) 資料貸出の申請は、原則として貸出日の2週間前までに行うこと。
- (4) 資料の貸出は無料とする。但し、貸出に係る輸送等の経費は、借受人の負担とする。
- (5) 資料の輸送は、原則として専門的技量を有する輸送業者扱いとし、借受人が手配すること。輸送業務は、梱包から開梱まで含むこと。
- (6) 借受人は貸出条件を遵守すること。条件に違反した場合には許可を取り消すことがある。その際に生じた損害については、当資料館はその責任を負わない。
- (7) 貸出資料の利用によって著作権法に係る問題が生じたときは、当資料館はその責任を負わない。
- (8) 借受人は貸出資料の利用状況について、「開催報告書」を提出すること。

4 提出書類

- (1) 資料貸出申請書（14号様式）
- (2) 資料貸出明細書
- (3) 事業企画書（実施要項等）
- (4) 開催報告書（指定用紙）

*申請はあらかじめFAXで行い、
後日原本を郵送して下さい。

連絡先：沖縄県平和祈念資料館 〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁614-1 Tel 098-997-3844 Fax 098-997-3947 URL http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/

第14号様式（第22条関係）

資料貸出申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住 所

団 体 名

代表者氏名

電 話 番 号

印

保証人

住 所

氏 名

電 話 番 号

印

沖縄県平和祈念資料館(分館を除く。)の資料について、貸出しを申請します。
八 重 山 平 和 祈 念 館

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
保 管 期 間	年 月 日から 年 月 日まで
貸出申請理由	

戦争体験証言ビデオ貸出要項

1 目的

編集済み戦争体験証言ビデオ（以下、「証言ビデオ」という。）を貸し出すことによって、県内外の人々により深く、沖縄戦の実相と平和の尊さを知ってもらう。

2 利用方法

- (1) 利用者は「貸出用証言ビデオリスト」をもとに、「証言ビデオ貸出申請書」（以下、「申請書」という。）を提出、又は沖縄県電子申請システムを使用して貸出の申請を行う。
- (2) 職員は申請書を確認した後、「証言ビデオ貸出許可証」（以下、「許可証」という。）を証言ビデオと一緒に申請者に交付する。
- (3) 利用者は返却時に証言ビデオと許可証と一緒に返却する。

3 貸出期間

原則として2週間以内とする。

4 貸出本数

原則として5本以内とする。

5 貸出条件

- (1) 申請書の目的以外に使用しないこと。
- (2) 転貸借をしないこと。
- (3) 複製をしないこと。
- (4) 営利目的に使用しないこと。
- (5) 滅失・汚損・き損した場合は、相当の代価をもって損害を賠償すること。

6 その他

証言ビデオの貸出は無料とする。但し、郵送又は宅配便利用の際は申請者負担とする。

沖縄県平和祈念資料館

〒901-0333 沖縄県糸満市摩文仁614番地の1

TEL 098-997-3844

FAX 098-997-3947

平和学習キット借用申請書

平成 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

学校名：

住所：

電話番号：

申請者氏名：

印

申請者連絡先：

平和学習キットの借用を申請します。

1 目的

2 期間（2週間以内を原則とする：借用、返却の日を含む）

平成 年 月 日（ ）～ 月 日（ ）まで

3 希望キット名（A～D 4種類あります。別紙参照。希望するものに○をつけて下さい。）

1	平和学習キット A 《戦争とくらし：19点》	()
2	平和学習キット B 《沖縄戦の記憶：20点》	()
3	平和学習キット C 《沖縄戦の記録写真：30点》	()
4	平和学習キットD 《みんななかよく：絵本1点、紙芝居2点》	()

貸出条件

- (1) 申請書の「1 目的」以外に使用しないこと。
- (2) 県内外の学校ならびに学校関係機関での使用に限る。
- (3) 転貸借をしないこと。
- (4) 複製をしないこと。写真データの借用を希望する際は、別途申請する。
(決裁に時間がかかります。ゆとりを持って申請して下さい。)
- (5) 営利目的に使用しないこと。
- (6) 使用に関する注意事項を厳守すること。
- (7) 滅失、汚損、棄損した場合は、相当の代価をもって損害を賠償すること。

※対応者（ ）

開催状況報告書

沖縄県平和祈念資料館長 殿

日 時 平成 年 月 日

団体名

住 所

電 話

担当者

次のとおり開催状況を報告します。

会 名 称																								
借用期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日 (日間)																							
開催期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日																							
会 場		入場者数																						
借用資料	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">1 沖縄戦写真パネル</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">(</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">点)</td> </tr> <tr> <td>2 サイパン・テニアン戦写真パネル</td> <td style="text-align: center;">(</td> <td style="text-align: right;">点)</td> </tr> <tr> <td>3 児童・生徒の平和メッセージ作品パネル</td> <td style="text-align: center;">(</td> <td style="text-align: right;">点)</td> </tr> <tr> <td>4 世界人権宣言絵画パネル</td> <td style="text-align: center;">(</td> <td style="text-align: right;">点)</td> </tr> <tr> <td>5 沖縄戦実物資料</td> <td style="text-align: center;">(</td> <td style="text-align: right;">点)</td> </tr> <tr> <td>6 「沖縄戦の絵」複製パネル</td> <td style="text-align: center;">(</td> <td style="text-align: right;">点)</td> </tr> <tr> <td>7 その他</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			1 沖縄戦写真パネル	(点)	2 サイパン・テニアン戦写真パネル	(点)	3 児童・生徒の平和メッセージ作品パネル	(点)	4 世界人権宣言絵画パネル	(点)	5 沖縄戦実物資料	(点)	6 「沖縄戦の絵」複製パネル	(点)	7 その他		
1 沖縄戦写真パネル	(点)																						
2 サイパン・テニアン戦写真パネル	(点)																						
3 児童・生徒の平和メッセージ作品パネル	(点)																						
4 世界人権宣言絵画パネル	(点)																						
5 沖縄戦実物資料	(点)																						
6 「沖縄戦の絵」複製パネル	(点)																						
7 その他																								
開催状況 および感想																								

*開催状況写真、新聞記事、参考資料などがあれば添付して下さい。

資料返却時または返却後一週間以内にファックスか郵送で送付して下さい。

送付先 沖縄県平和祈念資料館 〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の 1

TEL 098-997-3844 fax 098-997-3947

戦争体験証言ビデオ貸出申請書

平成 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

団体名

郵便番号

住 所

電話番号

申請者名

印

戦争体験証言等ビデオの貸出しを申請します。

1 目 的

2 期 間 （2週間以内を原則とする。）

平成 年 月 日（ ）～ 月 日（ ）まで

3 本 数（5本以内を原則とする。）

本

4 ビデオ（VHS または DVD ）No.（ ）

「平和のウムイ」DVD のみ No.（ ）

貸出条件

- （1）申請書の目的以外に使用しないこと。
- （2）転貸借をしないこと。
- （3）複製をしないこと。
- （4）営利目的に使用しないこと。
- （5）滅失・汚損・き損した場合は、相当の代価をもって損害を賠償すること。

沖繩県立平和祈念資料館(旧館) 年度別入館状況

年度別	有 料 観 覧										無 料 観 覧 者	観 覧 者 数	開 館 日 数	一 日 平 均 観 覧 者 数	備 考	
	観 覧 料 種 別					出 身 別										計
	大人個人(%)	大人団体(%)	小人個人(%)	小人団体(%)	小人団体(%)	県内	県外	外国								
昭和50年度	13,784(75)	2,025(11)	1,759(9)	900(5)	900(5)							18,468	248	74		
51年度	9,520(53)	4,200(23)	963(5)	3,408(19)	3,408(19)							18,091	306	59		
52年度	10,480(54)	4,264(22)	818(4)	3,932(20)	3,932(20)							19,494	307	72		
53年度	14,022(40)	4,855(14)	1,877(5)	14,097(41)	14,097(41)							34,851	220	158		
54年度	22,288(41)	6,307(12)	3,600(7)	21,513(40)	21,513(40)							53,708	305	176		
55年度	20,727(39)	5,830(11)	3,109(6)	23,762(44)	23,762(44)					176		53,428	307	174		
56年度	20,215(34)	5,985(10)	3,367(6)	29,211(50)	29,211(50)					310		58,778	304	199		
57年度	26,357(36)	7,077(10)	4,243(6)	34,584(48)	34,584(48)					522		72,261	307	240		
58年度	26,359(35)	8,051(11)	4,827(6)	36,272(48)	36,272(48)					685		75,509	307	252		
59年度	27,265(34)	9,203(11)	3,932(5)	39,791(50)	39,791(50)					1,210		80,191	255	326		
60年度	29,888(31)	13,263(14)	4,701(5)	49,073(50)	49,073(50)					1,561		96,925	306	326		
61年度	27,529(27)	13,364(13)	4,629(5)	54,622(55)	54,622(55)					1,780		100,144	306	335		
62年度	40,566(34)	14,395(12)	5,441(5)	57,976(49)	57,976(49)					2,061		118,378	306	403		
63年度	45,058(34)	16,719(13)	5,557(4)	63,910(49)	63,910(49)					2,952		131,244	306	440		
平成元年度	35,325(31)	14,477(12)	7,016(6)	59,363(51)	59,363(51)					3,640		116,181	307	397		
2年度	29,514(29)	12,281(12)	5,950(6)	52,511(52)	52,511(52)					3,391		100,256	306	388		
3年度	26,687(30)	11,246(13)	5,279(6)	45,409(51)	45,409(51)					3,501		88,621	305	320		
4年度	26,500(32)	9,778(12)	5,661(7)	40,021(49)	40,021(49)					3,752		81,960	307	303		
5年度	22,667(28)	11,191(14)	5,683(7)	41,461(51)	41,461(51)					3,600		81,002	310	274		
6年度	18,056(23)	9,161(12)	4,563(6)	48,084(60)	48,084(60)					3,785		79,864	310	267		
7年度	70,319(45)	16,676(11)	13,837(9)	53,282(35)	53,282(35)					4,046		154,114	308	525		
8年度	59,643(39)	16,393(11)	11,056(7)	64,840(43)	64,840(43)					3,506		151,932	311	507		
9年度	62,485(35)	13,247(8)	10,137(6)	91,099(55)	91,099(55)					2,951		176,968	310	593		
10年度	58,196(35)	10,647(6)	10,426(6)	89,965(53)	89,965(53)					2,828		169,234	312	558		
11年度	59,654(34)	8,367(4)	9,952(6)	97,464(56)	97,464(56)					2,585		175,437	295	611		
												2,307,039				
												104,723				
												2,411,762				

沖縄戦の真相にふれるたびに
戦争というものは
これほど残酷で、これほど汚辱にまみれたものはない
と思わなくては

この「なまなまし」に体験の前では
いかなる人でも
戦争を肯定し美化することは
できないはず

戦争をおこすのは たしかに 人間です
しかし それ以上に
戦争を許さなぬ力の方でまゝのも
私たちが 人間 下はない下しようか

戦後このかた 私たちは
あらゆる戦争を増み
平和な島を建設せねば と思いつけてきました

これが
あまりにも大きすぎる代償を払って得た
ゆするることのできない
私たちの信条なのです

(沖縄県平和祈念資料館 展示むすびのことば)

沖縄県平和祈念資料館年報 第15号

2015 (平成27) 年5月



日本平和博物館会議
ASSOCIATION OF JAPANESE MUSEUMS FOR PEACE

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の1

TEL 098-997-3844

FAX 098-997-3947

URL <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>

E-mail webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp

八重山平和祈念館 (分館)

住所：〒907-0014 沖縄県石垣市新栄町 79 番地の3

TEL / FAX 0980-88-6161

E-mail yaeyamaheiwa-mararia@basil.ocn.ne.jp

2014（平成26）年度

沖縄県平和祈念資料館年報 第15号



沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum